



## **Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G ユーザ ガイド**

初版：2012年04月08日

最終更新：2012年6月1日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



## 目次

### はじめに xv

概要 xv

追加情報 xvi

安全性とパフォーマンスの情報 xvii

    バッテリーの安全性に関する注意事項 xviii

    停電 xx

    規制ドメイン xx

    医療現場での使用 xx

    外部デバイスの使用 xxi

シスコ製品のセキュリティ xxi

アクセシビリティ機能 xxi

### Cisco Unified Wireless IP Phone の機能 1

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G 1

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX 3

    爆発の危険性がある環境 5

ボタンとハードウェア 5

電話スクリーンの機能 8

    ホーム画面 10

機能ボタンとメニュー 11

    電話機のヘルプ システム 12

    電話機のボタン 12

回線およびコールの用語 13

回線とコールのアイコン 13

圏外のアラート 15

利用可能な機能 16

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのサポート 16

ハンズフリー プロファイルのサポート	16
電話機のクリーニング	17
<b>電話の設置</b>	<b>19</b>
電話機のバッテリーの取り付け	19
電話機のバッテリーの充電	21
AC 電源でのバッテリーの充電	22
USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電	23
バッテリーの充電後	24
電話機の電源投入	25
信号強度の表示	25
ユーザ名とパスワードの設定	25
テキストの入力	26
TAPS での登録	27
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G 用アクセサリ	27
ヘッドセット情報	28
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット	28
オーディオの品質	28
ロック セットおよびケーブル ロックで電話機を固定	29
<b>コール機能</b>	<b>31</b>
基本的なコール オプション	32
ハンドセットでのコールの発信	33
スピーカ モードでのコールの発信	33
番号のリダイヤル	33
既存のアクティブ コールでのコールの発信（同じ回線）	34
電話帳からのコールのダイヤル	34
通話履歴のエントリからのダイヤル	35
国際電話番号のダイヤル	35
高度なコール オプション	35
スピード ダイヤルでの連絡先番号の発信	36
設定済みのスピード ダイヤル番号のダイヤル	36
既存のアクティブ コールでのコールの発信（異なる回線）	37
セカンダリ回線のコールの発信	37

社内ディレクトリからのダイヤル	38
折返し	38
プライオリティ（優先）コールの開始	38
個人アドレス帳（PAB）エントリからのダイヤル	39
CMC コールまたは FAC コールの発信	39
エクステンション モビリティ プロファイル コールの発信	40
Push to Talk コールの発信	40
ファスト ダイヤル コールの発信	41
コールへの応答	41
コールへの応答	42
着信コールの呼出音の消音	42
接続中のコールから呼出中のコールに切り替えて応答（ハンドセットを使用）	42
コール待機を使用した応答	43
コールをボイスメールに直接送信（ハンドセットを使用）	43
ハンドセットを使用したプライオリティ コールへの応答	43
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用したプライオリティ コールへの応答	43
自動応答コール	44
コールの切断	44
コールの終了	44
同じ回線上のコールの切断、別のコールの保持	44
保留および復帰	44
コールの保留	45
現在の回線で保留中のコールの解除（ハンドセットを使用）	45
別の回線で保留中のコールの解除	46
共有回線のワイヤレス電話機またはデスクの電話機へのコールの転送	46
ミュート	46
コールのミュートとミュート解除	46
複数のコール	47
接続されているコール間の切り替え（1つの回線）	47
異なる複数の回線に接続されているコールの切り替え	47
接続中のコールから呼出中のコールに切り替えて応答（ハンドセットを使用）	48
コール転送	48

転送先の相手と話さずにコールを転送	48
転送先の相手と話してからコールを転送（打診転送）	49
2つのコールを相互転送（直接転送）してから切断	49
ボイスメールへのコールのリダイレクト	49
コール転送	50
プライマリ回線のすべてのコールの転送設定	50
プライマリ回線のすべてのコールの転送をキャンセル	51
リモートでのコールの転送、電話機の非プライマリ回線のコールの転送の設定またはキャンセル	51
サイレント	51
サイレントのオン	52
サイレント（DND）設定のカスタマイズ	52
会議コール	53
会議機能	53
アドホック会議	53
会議の作成	53
会議の参加の終了	54
会議への参加	54
単一回線の既存のコールを結合した会議の作成	54
複数の回線に接続しているコールを結合した会議の実行	55
会議の割り込み	55
共有回線のコール割り込みによる会議の作成	56
ミーティング会議	56
ミーティング会議の開始	56
ミーティング会議への参加	57
会議参加者リスト	57
会議参加者のリストの表示、参加者の削除	57
会議コールのセキュリティの確認	58
会議の参加の終了	58
インターコム コール	58
事前に設定した目的のインターコムへのインターコム コールの発信	59
インターコム番号へのインターコム コールの発信	59

インターコム コールの受信	60
スピードダイヤル	60
スピードダイヤル ホット キー	60
スピードダイヤル コールの開始	61
回線表示のスピードダイヤル	61
短縮ダイヤル	61
ファストダイヤル	61
スピードダイヤルとファストダイヤル	62
スピードダイヤル ホット キーを使用した電話帳の連絡先へのコール	62
スピードダイヤルを使用した連絡先以外の番号へのコール	63
短縮ダイヤルでのコールの開始	63
ファストダイヤルでのコールの開始	63
回線表示のスピードダイヤル コールの開始	64
コール ピックアップ	64
コール ピックアップ グループのコールのピックアップ	64
コール ピックアップ グループ以外のコールのピックアップ	65
グループまたは関連グループのコールのピックアップ	65
特定の外線（回線番号）で鳴っているコールへの応答	65
コールパーク	66
アクティブ コールの保存および取得（コールパークを使用）	66
ダイレクト コールパーク番号でのアクティブ コールの直接転送、保存、取得	67
ハントグループ	67
ハントグループのログインとログアウト	67
共有回線	68
リモートで使用中のメッセージ	68
コール情報および割り込み	68
プライバシー	69
割り込みおよび共有回線コール	69
共有回線ステータスの表示	69
共有回線のコールへの参加	70
割り込みコールの終了	70
プライバシーおよび共有回線コール	70

他のユーザによる共有回線のコールの表示または割込みの防止	71
他のユーザによる共有回線のコールの表示または割込みの許可	71
回線の状態 (BLF)	71
回線状態のアイコン	71
BLF ピックアップを使用した同僚の電話機のコールへの応答	72
セキュアなコール	72
セキュリティ アイコン	73
不審なコールのトレース	73
不審なコールや嫌がらせのコールをシステム管理者に通知	74
プライオリティ (優先) コール	74
プライオリティ (優先) コールの開始	75
優先度の高いプライオリティ コールへの応答	75
通話履歴とディレクトリ	77
通話履歴	77
通話履歴の表示	78
通話履歴からのダイヤル	78
1つのコール レコードの詳細を表示	79
1つのコール レコードの削除	79
1つのログ内のすべてのコール レコードの削除	79
すべての通話履歴内のすべてのコール レコードの削除	80
ディレクトリ	80
社内ディレクトリ	80
社内ディレクトリからのダイヤル (コール中でないとき)	81
パーソナルディレクトリ	81
Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降によるパーソナルディレクトリの設定	81
Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0 以降によるパーソナルディレクトリの設定	82
パーソナルディレクトリ (PAB およびファスト ダイヤル コード用) へのアクセス	82
PAB エントリの検索	82
PAB エントリからのダイヤル	83



PAB エントリの削除	83
PAB エントリの編集	83
新規 PAB エントリの追加	84
PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て	84
新しいファストダイヤルコードの追加 (PAB エントリを使用しない)	85
ファストダイヤルコードの検索	85
ファストダイヤルコードでのコールの発信	85
ファストダイヤルコードの削除	86
パーソナルディレクトリからのログアウト	86
社内電話帳	86
電話帳への連絡先の追加	87
連絡先のプライマリ番号の割り当て	87
連絡先の名前または会社情報の変更	88
連絡先の電話番号の変更	88
電話帳の連絡先の検索	89
電話帳からの連絡先の削除	89
連絡先のプライマリ電話番号をダイヤル	90
連絡先の電話番号をダイヤル	90
電話帳での全エントリのクリア	91
通話履歴から電話帳の新しい連絡先に電話番号をコピー	91
通話履歴から電話帳の既存の連絡先に電話番号をコピー	91
ディレクトリから電話帳の新しい連絡先に電話番号をコピー	92
ディレクトリから電話帳の既存の連絡先に電話番号をコピー	92
電話帳にある連絡先番号へのスピードダイヤルの割り当て ([スピードダイヤル] 画面から)	93
電話帳にある連絡先番号へのスピードダイヤルの割り当て (メイン画面から)	93
スピードダイヤルの割り当て解除	94
ボイス メッセージ	95
ボイスメール サービスの設定および個人設定	95
ボイスメールの受信またはボイスメールのシステム メニューへのアクセス	96
ボイスメール システムへのコールの送信	96
アプリケーション	97

Cisco エクステンション モビリティ	97
EM へのログイン	98
EM のログアウト	98
アプリケーション ボタン	98
Push to Talk サービス	98
Push to Talk サービスの使用	99
バーコード スキャナ	99
電話機のカスタマイズ	101
カスタムの呼出音	101
回線の呼出音の設定の表示	102
回線の呼出音の変更	102
回線への呼出音の割り当て	102
電話機の呼出方法の変更	103
カスタムの音量設定	103
呼出音音量レベルの調整	104
スピーカの音量レベルの調整	104
電話機の音量レベルの調整	104
ヘッドセットの音量レベルの調整	105
呼出音の鳴るデバイスの選択	105
カスタムの電話スクリーン	105
左のソフトキーで電話帳を開くように設定	106
左のソフトキーでメッセージにアクセスするように設定	106
電話機のディスプレイの明るさの変更	106
スクリーンの表示時間の変更	107
電波状態の LED 表示の変更	107
電話スクリーンの言語の変更	108
フォント サイズの変更	108
キーパッド設定	108
任意のキーによる応答	109
任意のキーを押してコールに応答できる機能の設定	109
[任意のキーによる応答] オプションの無効化	109
キーパッドの自動ロック	109

電話機使用後のキーパッドの自動ロック	110
キーパッドのロック解除	110
キーパッドの自動ロックの解除	110
キー操作音量	111
キー操作音量レベルの変更	111
ネットワーク プロファイル リスト	111
有効なネットワーク プロファイルのリストの表示	112
ハードウェア診断	112
キーパッド ボタンの機能の確認	112
オーディオ診断の実行	113
WLAN 診断の実行	113
スキャナの診断の実行	113
その他の設定オプション	114
ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン	117
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの操作	117
ハンドセットの使用	118
有線ヘッドセットの使用	118
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用	118
スピーカ モードの使用	119
コール中のスピーカとハンドセットの切り替え	119
ヘッドセット	119
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット	119
電話機の Bluetooth の有効化/無効化	120
Bluetooth デバイスのスキャン	120
Bluetooth ヘッドセットと電話機のペアリング	121
すでにペア化されている Bluetooth ヘッドセット（未接続）と電話機の接続	121
Bluetooth ヘッドセットと電話機のペア解除	122
電話機からの Bluetooth ヘッドセットの接続解除	122
Bluetooth ヘッドセットからスピーカまたはハンドセットへの切り替え（コール中）	122
スピーカまたはハンドセットから Bluetooth ヘッドセットへの切り替え（コール中）	123

自動応答 123

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャー 125

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャーの概要 125

チャージャーの外部電源への接続 128

チャージャーとワイヤレス電話機のペアリング 129

電話機のチャージャーへの接続 130

電話機をチャージャーから取り外す 132

チャージャーのスピーカ音量の変更 132

予備バッテリーの交換 132

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャーの注意事項 133

## ユーザ オプション 135

Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ 135

ユーザ オプション Web ページの使用 136

ユーザ オプション Web ページへのログイン 136

ログイン後のデバイスの選択 136

ユーザ オプション Web ページの操作のヒント 136

電話サービスの登録 136

サービスへの登録 137

登録の変更または解除 137

電話機のサービスへのアクセス 137

Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ 138

ユーザ オプション Web ページの使用 138

ユーザ オプション Web ページへのログイン 138

ログイン後のデバイスの選択 138

ユーザ機能の設定 139

電話機の設定 139

[デバイス設定] ページに戻る 139

Web からの機能およびサービスの設定 140

Web でのスピードダイヤル 140

回線表示のスピードダイヤル番号の設定 141

短縮ダイヤルの設定	141
ファストダイヤルの設定	141
Web でのパーソナルディレクトリ	141
Web での新規 PAB エントリの追加	142
Web での PAB エントリの検索	142
Web での PAB エントリの編集	143
Web での PAB エントリの削除	143
Web での PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て	143
Web での電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て (PAB エントリを使用しない)	144
Web でのファストダイヤルエントリの検索	144
Web でのファストダイヤル電話番号の編集	144
Web でのファストダイヤルの削除	145
アドレス帳同期ツール	145
Web での電話サービスの設定	145
Web でのサービスの登録	145
Web でのサービスの検索	146
Web でのサービスの変更または解除	146
Web でのサービス名の変更	146
Web での使用可能な画面スロットへのサービスの追加	146
Web での電話機サービスへのアクセス	147
Web でのユーザ設定	147
Web でのパスワードの変更	148
Web での PIN の変更	148
Web でのユーザ オプション Web ページの言語 (ロケール) の変更	148
Web での電話スクリーンの言語 (ロケール) の変更	149
Web での回線の設定	149
Web での回線ごとのコール転送の設定	149
Web での回線ごとのボイス メッセージインジケータ設定の変更	150
Web での電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルの変更または作成	150
Cisco WebDialer	150

[ユーザ オプション]ディレクトリでの WebDialer の使用	151
[ユーザ オプション]ディレクトリではなく、別のオンライン社内ディレクトリで WebDialer を使用	151
WebDialer のログアウト	151
WebDialer の初期設定、表示、または変更	152
<b>トラブルシューティング</b>	<b>153</b>
一般的なトラブルシューティング	153
電話機の管理データ	155
ネットワークまたはワイヤレス ネットワークの設定データへのアクセス	155
ステータス データへのアクセス	156
電話機のコールおよびボイス品質情報へのアクセス	156
品質レポート ツールの使用	156
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャーの問題	156
電源/Bluetooth ステータス LED	157
電源/Bluetooth ステータス LED が点灯しない	157
電源/Bluetooth LED が青色で点滅している	157
バッテリー LED	157
バッテリー LED が点灯しない	158
バッテリー LED が赤色である	158
バッテリー LED がオレンジ色である	158
<b>保証</b>	<b>159</b>
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	159



## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G について説明します。

- [概要, xv ページ](#)
- [追加情報, xvi ページ](#)
- [安全性とパフォーマンスの情報, xvii ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, xxi ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, xxi ページ](#)

## 概要

このガイドでは、お使いの電話機で使用できる機能の概要を説明します。電話機の機能について理解するには、このガイド全体をよくお読みください。よく使用されるセクションへのリンクを次の表に示します。

目的	参照
安全情報を参照する	<a href="#">安全性とパフォーマンスの情報, (xvii ページ)</a> を参照してください。
電話機をネットワークに接続する	<a href="#">電話の設置, (19 ページ)</a> を参照してください。
設置後に電話機を使用する	<a href="#">Cisco Unified Wireless IP Phone の機能, (1 ページ)</a> を参照して、利用を開始してください。
ボタンとメニューについて確認する	<a href="#">機能ボタンとメニュー, (11 ページ)</a> を参照してください。
電話スクリーンについて確認する	<a href="#">電話スクリーンの機能, (8 ページ)</a> を参照してください。

目的	参照
コールを発信する	基本的なコール オプション, (32 ページ) を参照してください。
コールを保留にする	保留および復帰, (44 ページ) を参照してください。
コールをミュートにする	ミュート, (46 ページ) を参照してください。
コールを転送する	コール転送, (48 ページ) を参照してください。
会議コールを発信する	会議コール, (53 ページ) を参照してください。
別の電話番号にコールを転送する	コール転送, (50 ページ) を参照してください。
電話番号を共有する	共有回線, (68 ページ) を参照してください。
別の電話機で鳴っているコールに応答する	コールピックアップ, (64 ページ) を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン, (117 ページ) を参照してください。
スピードダイヤルを設定する	スピードダイヤル, (60 ページ) を参照してください。
呼出音の音量やトーンを変更する	カスタムの呼出音, (101 ページ) を参照してください。
不在着信の表示	通話履歴とディレクトリ, (77 ページ) を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	ボイス メッセージ, (95 ページ) を参照してください。
ユーザ オプション Web ページを使用して電話機をカスタマイズする	ユーザ オプション, (135 ページ) を参照してください。
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーを使用する	Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャー, (125 ページ) を参照してください。

## 追加情報

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスできます。



<http://www.cisco.com/>

各国のシスコ Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

最新のライセンス情報には、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/all\\_models/openssl\\_license/7900\\_ssllic.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html)

## 安全性とパフォーマンスの情報

Cisco Unified Wireless IP Phone を設置する前に、次の安全上の注意事項を確認してください。



警告

安全上の重要事項



警告

「危険」を意味しています。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の末尾にあるステートメント番号を使って、このデバイスに付属する安全上の注意事項（翻訳版）で訳文を確認してください。ステートメント 1071



警告

これらの指示を保存する



(注)

このマニュアルにある警告の翻訳を見るには、この製品に付属する関連資料『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Series and Peripheral Devices*』を参照してください。このドキュメントは、次の URL にあります。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html)



警告

システムを電源に接続する前に、設置の手順を確認してください。ステートメント 1004



警告

Voice over IP (VoIP) サービスと緊急コール サービスは、停電または電源が切断されると機能しません。電源が復旧したら、機器をリセットまたは再設定して VoIP と緊急コール サービスへの接続を復帰させます。米国の緊急電話番号は 911 です。ご利用される国の緊急電話番号は必ず確認してください。ステートメント 361



警告

バッテリー チャージャーのプラグとソケットは、電源を切断する場合に備えて、すぐに手が届く状態にしておく必要があります。ステートメント 1019



警告

バッテリーチャージャーは、建物に設置する際に、ショート（過電流）からの保護が必要です。国内および地域の配線規約に基づき設置してください。ステートメント 1045



警告

高度の爆発性ガスが存在する場所などの危険な環境では、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G を使用しないでください。こうした場所であらゆるタイプのワイヤレスデバイスを使用するときは、現地の安全技師に確認してください。



警告

爆発の可能性がある環境下で Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G のバッテリーを充電しないでください。



警告

爆発の可能性がある環境で Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX を使用する場合は、CSA または ATEX 認定アクセサリを使用してください。



警告

電話の受話器は磁場を発生させ、ピンやステープルなどの小さな磁気オブジェクトを引き付けます。事故の可能性を回避するためにも、これらオブジェクトの近くにハンドセットを設置しないでください。

## バッテリーの安全性に関する注意事項

ここに示すバッテリーの安全性に関する注意事項は、Cisco Unified Wireless IP Phone のメーカーによって承認済みのバッテリーを対象としています。



警告

バッテリーを不正に交換すると爆発の危険があります。バッテリーは、メーカーで推奨している同じタイプまたは同等のタイプのものとのみ交換してください。使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って破棄してください。ステートメント 1015



警告

本製品を最終処分する際は、すべての国の法律および規制に従って処理してください。ステートメント 1040



警告

バッテリーパックが火気に触れたり、水に濡れることのないようにしてください。バッテリーは火気に触れると爆発する可能性があります。

**注意**

このバッテリー パックは、本デバイスでの使用のみを目的としています。

**注意**

バッテリー パックを分解したり、圧搾したり、穴をあけたり、焼却処分しないでください。

**注意**

バッテリー パックの火災、焼け焦げ、損傷のリスクを避けるために、バッテリーの端子部分に金属物質が触れないようにしてください。

**注意**

損傷したバッテリーや漏出したバッテリーの扱いには、細心の注意を払ってください。電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗い流してください。電解液が目に入った場合は、水を目を 15 分間洗い流してから、医師の診断をあおいでください。

**注意**

周囲温度が摂氏 40 度（華氏 104 度）を超えている場合は、バッテリー パックを充電しないでください。

**注意**

バッテリー パックは高温（摂氏 60 度、華氏 140 度）に曝さないでください。

**注意**

バッテリー パックを破棄する際は、バッテリーの破棄またはリサイクルに関する地域の規制について、地域の廃棄物処理業者にお問い合わせください。

**注意**

バッテリーの入手については、お近くの販売業者にお問い合わせください。Cisco の製品番号の付いているバッテリーのみ使用してください。

標準バッテリー—CP-BATT-7925G-STD

長時間駆動バッテリー—CP-BATT-7925G-EXT

お使いの電話機と互換性のある Cisco 電源装置のみご使用ください。電源装置を注文するには、お近くの販売業者に連絡のうえ、Cisco 製品番号をお伝えください。

オーストラリア—CP-PWR-7925G-AU=

中央ヨーロッパ—CP-PWR-7925G-CE=

中国—CP-PWR-7925G-CN=

日本—CP-PWR-7925G-JP=

北米—CP-PWR-7925G-NA=

英国—CP-PWR-7925G-UK=

**(注)**

バッテリーおよび電源装置は電話機に付属していません。バッテリーおよび電源装置を注文するには、お近くの販売業者にお問い合わせください。

## 停電

電話機から緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されているワイヤレスアクセスポイントによって異なります。電源の供給が停止した場合、電源が回復するまで、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

## 規制ドメイン

この電話機の無線周波数 (RF) は、特定の規制ドメイン向けに設定されています。特定の規制ドメイン以外でこの電話機を使用した場合、電話機は正常に動作せず、現地の規制を侵害する可能性があります。

## 医療現場での使用

この製品は医療機器ではなく、その他のデバイスまたは機器からの干渉を受けやすい無認可の周波数帯を使用しています。

## 外部デバイスの使用

Cisco Unified Wireless IP Phone で外部デバイスを使用した場合に、次の情報が適用されます。

シスコでは、不要な無線周波数（RF）および可聴周波数（AF）がシールドされた、高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質、および携帯電話や双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタの品質を制御できないため、システムのパフォーマンスを保証することはいたしかねます。高品質のケーブルとコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、システムで十分なパフォーマンスが実現します。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部ヘッドセットのみを使用してください。

## シスコ製品のセキュリティ

本製品は、暗号化機能を備えており、輸入、輸出、配布、および使用に適用される米国および他の国での法律の適用対象になっています。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)

## アクセシビリティ機能

必要に応じて、アクセシビリティ機能のリストを入手することができます。Cisco アクセシビリティ機能の詳細については、次の URL を参照してください。

[www.cisco.com/go/accessibility](http://www.cisco.com/go/accessibility)



# 第 1 章

## Cisco Unified Wireless IP Phone の機能

この章では、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G の機能について説明します。

- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX, 3 ページ](#)
- [ボタンとハードウェア, 5 ページ](#)
- [電話スクリーンの機能, 8 ページ](#)
- [機能ボタンとメニュー, 11 ページ](#)
- [回線およびコールの用語, 13 ページ](#)
- [回線とコールのアイコン, 13 ページ](#)
- [圏外のアラート, 15 ページ](#)
- [利用可能な機能, 16 ページ](#)
- [Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのサポート, 16 ページ](#)
- [電話機のクリーニング, 17 ページ](#)

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は、Cisco Unified Communications Manager ならびに Cisco Aironet 802.11b/g および Cisco Aironet 802.11a アクセス ポイント (AP) と組み合わせることでプライベートビジネス通信ネットワーク上での包括的な音声コミュニケーションを実現する、802.11 デュアルバンド無線デバイスです。

この電話機は、Bluetooth ワイヤレス デバイスに認定されています (Qualified Device ID [QDID] B014396)。コンピュータが使用するものと同じワイヤレス LAN を使用して音声によるコミュニケーションを提供するものであり、電話機のコールの発信や受信、保留、転送、会議の開催などが可能です。

次の図に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G を示します。Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G の外観も同じです。



このモデルでは、他のネットワークデバイスと同様に、設定して管理する必要があります。この電話機は、G.711a、G.711u、G.729a、G.729ab、G.722/iLBC コーデックのエンコード、および G.711a、G.711b、G.711u、G.729、G.729a、G.729b、G.729ab コーデックのデコードを実行します。またこの電話機は、圧縮されていないワイドバンド（16 ビット、16 kHz）オーディオもサポートします。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は補聴器対応型（HAC）ですが、TTY 機能は備えていません。また、この電話機には中央の5のキーに「ドット」（「突起」）が付いており、触ってキーの位置を確認することができます。

物理的な特徴は、次のとおりです。

- 落下に対する耐損傷性
- 抗菌物質およびアルコールによる拭き取りへの耐性
- ラテックスおよび鉛の不使用
- 液体の飛散に対する耐性
- 防塵性
- 耐衝撃性および耐振動性
- USB 1.1 インターフェイス

基本的なコール処理機能に加えて、この電話機には、コール処理機能を拡張し生産性を高める機能も備わっています。

設定に応じて、次の機能がサポートされます。



- ハンズフリー コール機能を含む、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用
- 電話番号および社内ディレクトリへのワイヤレス アクセス
- 最大 200 の連絡先を保存できるローカルな電話帳、および電話帳の連絡先に割り当て可能なスピードダイヤルホットキー
- ネットワーク データ、XML アプリケーション、Web ベース サービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ
- 電話機の画面に情報を表示するオンライン ヘルプ システム

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX は、Atmospheres Explosibles (ATEX) Zone 2/Class 22 および Canadian Standards Association (CSA) Division 2/Class 1 認定の高機能電話機です。この電話機は、ガス、オイル、および化学製品製造現場における爆発を誘発しやすい環境に加え、ほこりが充満した環境での使用が認められています。防水保護された防塵機器であることを示す保護等級 64 (IP 64) レベルの保護がされています。業界標準の黄色を採用した本体は、緊急時にも迅速に見つけられます。

この電話機は、Bluetooth ワイヤレス デバイスに認定されています (Qualified Device ID [QDID] B014396)。コンピュータが使用するものと同じワイヤレス LAN を使用して音声によるコミュニケーションを提供するものであり、電話機のコールの発信や受信、保留、転送、会議の開催などが可能です。

次の図に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX を示します。



このモデルでは、他のネットワークデバイスと同様に、設定して管理する必要があります。この電話機は、G.711a、G.711u、G.729a、G.729ab、G.722/iLBC コーデックのエンコード、および G.711a、G.711b、G.711u、G.729、G.729a、G.729b、G.729ab コーデックのデコードを実行します。またこの電話機は、圧縮されていないワイドバンド（16 ビット、16 kHz）オーディオもサポートします。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX は、補聴器対応型（HAC）ですが、TTY 機能を備えていません。また、この電話機には中央の 5 のキーに「ドット」（「突起」）が付いており、触ってキーの位置を確認することができます。

物理的な特徴は、次のとおりです。

- Atmospheres Explosibles（ATEX）Zone 2/Class 22 の認定を受けており、電話機による空気中のガスへの引火は予防されています。
- Canadian Standards Association（CSA）Division 2/Class 1 認定を受けており、モバイルのコラボレーションコミュニケーションにアクセスできます。
- 業界標準の黄色を採用した本体は、緊急時にも迅速に見つけられます。
- 防水保護された防塵機器であることを示す保護等級 64（IP 64）レベルの保護がされています。
- 大きな 2 インチカラー（176x220 ピクセル）ディスプレイにより、見やすくなっています。
- 落下時に電話機が破損しにくくなっています。
- 抗菌物質およびアルコールによる拭き取りに耐性があります。
- ラテックス、鉛を使用していません。
- 衝撃と振動に対して高い耐性があります。
- USB 1.1 インターフェイス。



（注） ATEX Zone 2 認定：Zone 2 は、通常では爆発性ガスの滞留が発生する可能性が低く、発生するとしても、ごくまれであり、その状態が短時間（たとえば、1 年に 10 時間未満）しか継続しない領域として定義されています。



（注） CSA Class 1 Division II 認定：Class 1 は、爆発性または引火性の混合ガスを発生させるのに十分な量の可燃性ガスまたは気化物が空気中に滞留している可能性がある場所です。Division II は、分類済みの危険は通常は存在しないが、異常な条件下では存在する可能性がある場所です。

基本的なコール処理機能に加えて、この電話機には、コール処理機能を拡張し生産性を高める機能も備わっています。

設定に応じて、次の機能がサポートされます。

- ハンズフリー コール機能を含む、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用

- 電話番号および社内ディレクトリへのワイヤレス アクセス
- 最大 200 の連絡先を保存できるローカルな電話帳、および電話帳の連絡先に割り当て可能なスピードダイヤルホットキー
- ネットワーク データ、XML アプリケーション、Web ベース サービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ





## 爆発の危険性がある環境

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX は、ATEX Zone 2 および CSA Class 1 Division II の認定を受けた電話機です。つまり、この電話機は、通常では爆発性ガスの滞留が発生する可能性が低く、発生するとしても、ごくまれであり、その状態が短時間（たとえば、1 年に 10 時間未満）しか継続しない領域で使用することができます。またこの電話機は、爆発性または引火性の混合ガスを発生させるのに十分な量の可燃性ガスまたは気化物が空气中に滞留している可能性がある場所、および分類済みの危険は通常は存在しないが、異常な条件下では存在する可能性がある場所で使用することができます。


## ボタンとハードウェア

次の図に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G を示します。Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G と 7925G-EX の外観は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G と同じです。次の表では、電話機のキーの機能について説明します。



1	インジケータ ランプ (LED)	<p>次のように情報を通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 赤色の点灯：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーは充電中です。</li> <li>• 緑色の点灯：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーは完全に充電されました。</li> <li>• 赤色の高速点滅：着信コールがあります。電話機は充電中か、または完全に充電されました。</li> <li>• 赤色の低速点滅：ボイスメッセージがあります。電話機を AC 電源に接続すると、赤色のランプが、バッテリーのみの使用時よりも長く表示されます。</li> <li>• 緑色の低速点滅 (2秒ごと)：電話機は、バッテリー電源のみを使用しています。電話機は、ワイヤレス ネットワークに登録されており、通信圏内に入っています。</li> </ul>
2	カバー付きヘッドセットポート 	ヘッドセットまたはイヤホンの接続ポートには保護カバーが付いています。
3	スピーカ ボタン 	電話機のスピーカ モードのオン/オフを切り替えます。
4	右ソフトキー ボタン 	ソフトキーリストにアクセスできるように [オプション] メニューをアクティブにします。ソフトキー ラベルが表示されることもあります。
5	ナビゲーション ボタン 	<p>メイン画面から以下のメニューおよびリストにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> ▲ ディレクトリ</li> <li> ▶ 回線表示</li> <li> ▼ 設定</li> <li> ◀ サービス</li> </ul> <p>メニューを上下にスクロールしてオプションを強調表示したり、電話番号とテキストエントリの間を左右に移動したりできます。</p>


6	選択ボタン 	メイン画面から [ヘルプ] メニューをアクティブにします。 メニュー項目、ソフトキー、コール、または操作を選択できます。
7	電源/終了ボタン (赤色) 	電話機の電源オン/オフ、接続コールの終了、コール着信時の呼出音の消音を行います。 メニューの使用時は、メイン画面に戻るためのショートカットになります。
8	シャープ (#) キー 	キーパッドをロックできます。 テキストの入力時に、次の特殊文字を入力できます。#?()[]{}
9	ゼロ (0) キー 	電話番号のダイヤル時に「0」を入力します。テキストの入力時には、スペースまたは次の特殊文字を入力できます。.,‘“ _~’
10	アスタリスク (*) キー 	呼出音とバイブレータ モードを切り替えます。 テキストの入力時に、次の特殊文字を入力できます。*+ -/= \: ;
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、数字でのメニュー項目の選択を実行できます。
12	1 キー 	電話番号のダイヤル時に「1」を入力します。ボイス メールにアクセスできます。 テキストの入力時に、次の特殊文字を入力できます。!@<>\$%^&
13	応答/送信ボタン (緑色) 	呼び出し中のコールに応答したり、電話番号をダイヤルした後にコールを発信したりできます。
14	左ソフトキー ボタン 	画面に表示されているソフトキー オプションをアクティブにします。 ソフトキーを設定すると、メッセージに直接アクセスしたり、電話機がアイドル状態の時に電話帳を開いたりできます。
15	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン/オフを切り替えます。
16	音量ボタン 	電話機がアイドル状態のときに、呼出音の音量調整、バイブレータのオン、呼出音のオフを実行できます。

		<p>着信コールの呼出音が鳴っている場合、このボタンを1回押しして、コールの呼出音を消すことができます。</p> <p>通話中は、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカモードで、スピーカの音量を調整できます。</p> <p>電話機をデスクトップチャージャーに接続している場合は、電話機の音量ボタンでチャージャースピーカの音量を調整できます。</p>
17	<p>アプリケーションボタン</p> 	<p>Push to Talk やその他のサービスなど、XML アプリケーションで使用します。</p>
18	<p>バーコードスキャナ</p>	<p>Java MIDlet アプリケーションを使用して、バーコードをスキャンできます。</p> <p>(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G 専用です。</p>


## 電話スクリーンの機能

Cisco Unified Wireless IP Phone には、ソフトキー ボタンが2つしかありません。オプションソフトキーでは、電話機で使用可能な機能オプションのリストが表示されます。[オプション] リストに表示される機能は、電話機がアイドル状態になっているか、アクティブコールがあるかどうかで異なります。次に [オプション] リストが表示されたメイン画面を示します。



1	<p>電話機のステータス行</p>	<p>以下のアイコン（アクティブな場合）と電話番号が表示されます。</p>
		<p>バッテリーアイコン：バッテリーの充電のレベルを示します。</p>

 	
	バッテリー取り外しアイコン：バッテリーが取り外されている状態、または認識されていない状態を示します。
	信号アイコン：信号の強度を示します。
	キーロックアイコン：キーパッドがロックされていることを示します。
	スピーカアイコン：スピーカモードがアクティブであることを示します。
	ミュートアイコン：ミュートがアクティブであることを示します。
	ヘッドセットアイコン：ヘッドセットがアクティブであることを示します。
	呼出音オフアイコン：電話機のアラートがサイレントになっていることを示します。
	バイブレータアイコン：電話機のアラートがバイブレータのみになっていることを示します。
	バイブレータおよび呼出音アイコン：電話機のアラートが振動と呼出音になっていることを示します。
	ボイスメッセージアイコン：ボイスメッセージを受信したことを示します。
	アプリケーションアイコン：アプリケーション（Push to Talk など）がアクティブであることを示します。
	Bluetooth アイコン：Bluetooth 設定が有効であることを示します。
	Bluetooth アイコン：Bluetooth デバイスが接続されていることを示します。
10140	プライマリ電話回線：プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）が表示されます。

2	日付時刻行 12:39 06/20/06	日時が表示されます。
3	オプション メニュー	現在のコールの状態に応じて、特定のソフトキー機能が表示されます。
4	ソフトキー ラベル領域 電話帳：オプション	ソフトキーのオプションが表示され、ソフトキー機能の[オプション]リストにアクセスできます。
		メニューまたは画面のアクティブなナビゲーション矢印が表示されます。
5	ステータスと情報 現在のオプション	電話機のステータスまたは手順が表示されます。
6	メイン画面	4つのメニューアイコンとヘルプが表示されます。

## ホーム画面

電話機がアイドル状態のとき、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は、メイン画面または回線表示でもあります。電話機のホーム画面の表示については、システム管理者が決定します。

次の画面は、ホーム画面のメイン画面を示しています。









次の画面は、ホーム画面の回線表示を示しています。メイン画面へアクセスするには、◀ボタンを押します。









## 機能ボタンとメニュー



メイン画面から、ナビゲーション ボタンを使用して機能メニューにアクセスできます。

目的	操作
機能メニューを開く	<p>ナビゲーションボタンの矢印を押して、メイン画面から以下のメニューのいずれかにアクセスします。</p> <p> ▲ ディレクトリ</p> <p> ▶ 回線表示</p> <p> ▼ 設定</p> <p> ◀ サービス</p>
メニューまたはリストをスクロールする	<p>ナビゲーション ボタンの上部または下部を押します。</p> <p></p>
メニューオプションを選択する	<p>次の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 項目のキーパッド番号キーを押します。</li> <li>• スクロールして項目を強調表示し、 ボタン（ナビゲーションボタンの中央）を押します。</li> </ul>

目的	操作
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[戻る]を押します。 (注) メニューを閉じてメイン画面に戻るには、任意のメニューレベルから  を押します。
電話番号または名前を編集するためにカーソルの位置を戻す	ナビゲーション ボタンを左右に押します。 
強調表示されたコールまたはオプションを選択する	 を押します。
ヘルプにアクセスする	メイン画面から、  を押します。

## 電話機のヘルプシステム

お使いの電話機には、オンライン ヘルプ システムがあります。画面には、ヘルプ トピックが表示されます。

目的	操作
メインメニューを表示する	 を押して、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メインメニューには、次の項目があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone について：電話機の詳細な情報</li> <li>• 操作方法：電話機の一般的な操作手順</li> <li>• コール機能：コール機能の説明および手順</li> <li>• ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント</li> </ul>
ヘルプを使用してヘルプ情報を表示する	 を押して、オンラインヘルプのメインメニューの表示を待ちます。表示されたら、[ヘルプ]を選択します。

## 電話機のボタン

電話機のキーパッドとボタンは、よく使用する機能へのショートカットになっています。



目的	参照先
電話機のキーパッドをロックする	キーパッドの自動ロック、(109 ページ)
電話機のキーパッドのロックを解除する	キーパッドの自動ロック、(109 ページ)
呼出音とバイブレータ モードを切り替える	カスタムの呼出音、(101 ページ)
ボイス メッセージを聞く	ボイス メッセージ、(95 ページ)
通話中に音量を調整する	カスタムの音量設定、(103 ページ)
コールの呼出音のパターンを変更する	カスタムの呼出音、(101 ページ)

## 回線およびコールの用語

回線とコールは、混同されやすい用語です。次にこれらの用語の意味を説明します。

### 回線

回線とは、コール発信に使用するディレクトリ番号またはインターコム番号に対応するもの

です。この電話機は、6回線までサポートしています。電話回線を表示するには、 ボタンを押して回線表示を開きます。回線表示リストには、ディレクトリ番号と同様の数の回線が電話回線アイコンで表示されます。

### コール

各回線は、複数のコールをサポートします。一般的には4 コールまでです。この電話機は24 接続コールまでサポートできますが、コール数はニーズに応じてシステム管理者が調節できます。一度にアクティブになるコールは1つだけであり、他のコールは自動的に保留になります。

## 回線とコールのアイコン

次のメイン画面には、2 件のアクティブ コールが表示されています。1 件が保留中 (23827) 、もう 1 件が接続中 (3956933) です。




1	電話機のステータス行	アイコンと電話番号
2	コール アクティビティ領域	発信者の情報、接続時間、コール状態アイコン
3	ステータス行	選択した回線のステータス
4	ソフトキー ラベル	コール機能とオプションリスト

電話機には、以下のアイコンが表示され、回線およびコールの状態を確認できます。


アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフックの回線	この回線には、コール アクティビティがありません。
	オフフックの回線	回線は使用中ですが、コールには接続されていません。
	コール接続	通話相手に接続されています。
	着信コール、または ビジー ランプ フィールド (BLF) 監視対象回線を呼び 出し中 (BLF ピック アップ)	<a href="#">回線の状態 (BLF)</a> 、 <a href="#">(71 ページ)</a> を参照してください。
	BLF 監視対象回線 がアイドル状態	<a href="#">回線の状態 (BLF)</a> 、 <a href="#">(71 ページ)</a> を参照してください。
	BLF 監視対象回線 は使用中	<a href="#">回線の状態 (BLF)</a> 、 <a href="#">(71 ページ)</a> を参照してください。
	BLF 監視対象回線 はサイレント状態	<a href="#">回線の状態 (BLF)</a> 、 <a href="#">(71 ページ)</a> を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	この回線では BLF インジケータは使用不可	回線の状態 (BLF) , (71 ページ) を参照してください。
	リモート回線は使用中	共有回線は、リモートで使用されています。共有回線, (68 ページ) を参照してください。
	コール保留中	このコールを保留中に行っています。保留および復帰, (44 ページ) を参照してください。
	コール転送が有効な状態	プライマリ回線を転送しました。コール転送, (50 ページ) を参照してください。
	認証済みコール	不審なコールのトレース, (73 ページ) を参照してください。
	暗号化済みコール	不審なコールのトレース, (73 ページ) を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用していません。インターコム コール, (58 ページ) を参照してください。
	一方向のインターコム コール	インターコム回線が、一方向のオーディオを送信または受信しています。インターコム コール, (58 ページ) を参照してください。
	双方向のインターコム コール	受信者が、インターコム回線を押して、発信者との双方向のオーディオをアクティブにしました。インターコム コール, (58 ページ) を参照してください。

## 圏外のアラート

ワイヤレスネットワークの圏外に出たとき、システム管理者は電話機から音によるアラート（ビープ音）を鳴らすよう設定できます。アラートが聞こえると、（信号なし）アイコンが電話スクリーンに表示されます。

ワイヤレスネットワークの圏外に出ると、発信や着信など、ワイヤレスネットワーク接続が必要な機能を電話機で利用できなくなります。

システム管理者が圏外アラートを有効に設定している場合、設定によってはビープ音が一度のみ、またはワイヤレス ネットワーク 圏内に戻るまで 10 秒、30 秒、または 60 秒おきに鳴ります。アラートを聞いてからワイヤレス ネットワーク に再接続するには、電話スクリーンに再び信号アイコン  が表示される場所まで移動します。

## 利用可能な機能

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G の操作と利用可能な機能は、会社で使用するコール処理エージェントや会社の電話サポート チームによる電話システムの設定によって異なります。そのため、このガイドに記載されるいくつかの機能は利用できないか、または電話システム上で異なる動作をすることがあります。機能の動作または利用可能な機能については、サポート デスクまたはシステム管理者までお問い合わせください。

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのサポート

Cisco Unified Wireless IP Phone では、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用できます。ヘッドセットの使用については、[ヘッドセット情報](#)、[\(28 ページ\)](#) および [ハンドセット](#)、[ヘッドセット](#)、[スピーカフォン](#)、[\(117 ページ\)](#) を参照してください。

## ハンズフリー プロファイルのサポート

電話機では、ハンズフリープロファイルの特定の機能をサポートします。ハンズフリープロファイルは標準の機能セットで、電話機を使うことなくハンズフリーデバイス (Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットなど) から特定のタスクが実行できます。たとえば、電話機の **リダイヤル** ボタンを押す代わりに、ヘッドセット メーカーの手順に従って Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットから番号をリダイヤルできます。

これらのハンズフリー機能は、Cisco Unified Wireless IP Phone で使用する Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットに適用されます。

- リダイヤル：最後にダイヤルした番号を呼び戻します。
- 着信コールの拒否：即転送オプションを使用してコールをボイスメールに転送します。
- 3者コール：アクティブなコールがあり、別途着信コールまたは保留中のコールがある場合、次の 2 つの方法のうち 1 つを選択してコールを処理できます。
  - アクティブなコールを終了して、待機中のコールを復帰します。
  - アクティブなコールを保留して、待機中のコールに応答または復帰させます。



- 
- (注) ハンズフリー デバイスによって、機能の動作は異なる場合があります。また、同じ機能でもハンズフリー デバイス メーカーによっては別の名称を使用する場合があります。
- ハンズフリー機能の使用については、デバイス メーカーが提供するマニュアルを参照してください。
- 

#### 関連トピック

- [基本的なコール オプション, \(32 ページ\)](#)
- [コールへの応答, \(41 ページ\)](#)
- [保留および復帰, \(44 ページ\)](#)
- [複数のコール, \(47 ページ\)](#)

## 電話機のクリーニング

電話スクリーンと電話機を柔らかく乾いた布または濡れた布で優しく拭いてください。



- 
- (注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は埃と水に耐性がありますが、電話機をさらに保護したい場合は、シリコンケースをご購入ください。詳細については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide*』を参照してください。
-







## 第 2 章

### 電話の設置

会社のワイヤレス ネットワークおよび IP テレフォニー ネットワークに接続する新しい Cisco Unified Wireless IP Phone の設定は、システム管理者が行います。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G は、充電式リチウムイオンバッテリーで電源供給します。電話機を使用する前に、電話機にバッテリーを取り付けて、バッテリーを充電する必要があります。バッテリーのタイプによっては、フル充電されたバッテリーで次の時間動作できます。

- 標準バッテリーは、通話時間 9.5 時間まで、スタンバイ時間 180 時間まで。
- 拡張バッテリーは、通話時間 13 時間まで、スタンバイ時間 240 時間まで。



(注) Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用すると、いずれのバッテリー タイプでも通話時間とスタンバイ時間が短くなります。さらに、システム管理者による電話機の設定によってもバッテリー寿命は影響されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

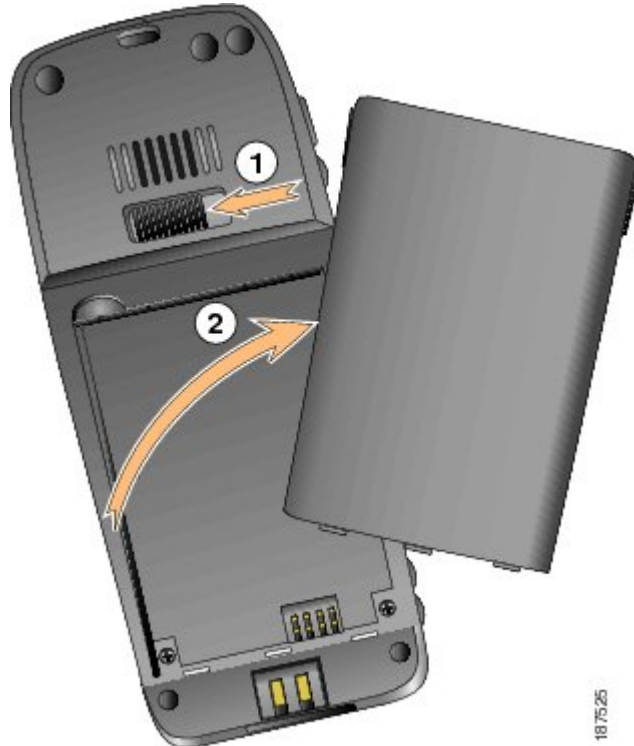
- [電話機のバッテリーの取り付け, 19 ページ](#)
- [電話機のバッテリーの充電, 21 ページ](#)
- [バッテリーの充電後, 24 ページ](#)
- [ユーザ名とパスワードの設定, 25 ページ](#)
- [TAPS での登録, 27 ページ](#)
- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G 用アクセサリ, 27 ページ](#)

### 電話機のバッテリーの取り付け

このセクションでは、電話機のバッテリーの取り付け方法について説明します。

## 手順

**ステップ1** 電話機のカバーを取り外すには、次の図の手順に従います。



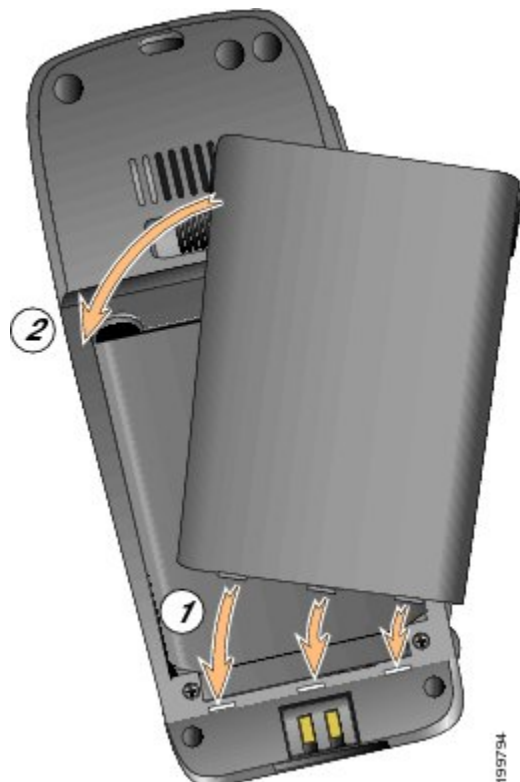
- a) ロックを左に押してカバーをゆるめます。
- b) バッテリー収納部のカバーを持ち上げて取り外します。

**ステップ2** バッテリーを取り付けるには、次の図の手順に従います。



- a) バッテリーをバッテリー収納部の下の部分に合わせ、電話機の金属接触部とバッテリーをしっかりと合わせます。
- b) バッテリーをバッテリー収納部に押し込んで固定します。バッテリーと電話機がずれていないことを確認します。

**ステップ3** 電話機のカバーを元に戻すには、次の図の手順に従います。



- a) カバーの下部のツメを電話機のノッチに合わせます。
- b) カチッという音がするまで、カバーを電話機にしっかりと押しつけます。

## 電話機のバッテリーの充電

AC 電源または USB ケーブルを電話機に接続することで、Cisco Unified Wireless IP Phone のバッテリーを充電できます。次の表では、充電方法とそれぞれの充電時間を示します。

バッテリーのタイプ	AC 電源を電話機に接続した場合の充電時間	USB ケーブルで電話機を PC の USB ポートに接続した場合の充電時間
標準	2 時間	5 時間
拡張	3 時間	7 時間



- (注) またデスクトップチャージャーまたはマルチチャージャーを使用してバッテリーを充電できます。詳細については、[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャー](#)、(125 ページ) および『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide*』を参照してください。

#### 関連トピック

[AC 電源でのバッテリーの充電](#)、(22 ページ)

[USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電](#)、(23 ページ)

[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャー](#)、(125 ページ)

## AC 電源でのバッテリーの充電

AC 電源を電話機に接続することで、バッテリーを急速に充電できます。異なる AC 電源レセプタクルに対応するには、適切な AC プラグアダプタを AC 電源に挿入する必要があります。

バッテリーの充電中でも、電話機は使用することができます。バッテリーの充電後は、電源コードを取り外しても、電話機に電源コードを差し込んだままでもかまいません。



- (注) 設定によっては、電話機を AC 電源に接続すると、電話機の電源が自動的にオフになることもあります。AC 電源には、電源、デスクトップチャージャー、またはマルチチャージャーなどがあります。電話機を AC 電源に接続したまま使用している場合（コール中または XML 電話サービスの使用中）、コール後や電話サービスの終了後に電話機の電源がオフになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

AC 電源を使用して電話機内のバッテリーを充電する場合、次の図の手順に従ってください。



### 手順

- 
- ステップ 1** ミニ USB ポートのカバー（電話機の下部）を持ち上げます。
- ステップ 2** ポートのカバーを片側に回転します。
- ステップ 3** AC 電源のミニ USB コネクタをポートに差し込みます。
- ステップ 4** AC プラグアダプタを電源のスロットに差し込みます。
- ステップ 5** AC 電源をコンセントに差し込みます。
- ステップ 6** インジケータランプが赤色であることを確認します。ランプは、充電ステータスを通知します。
- 赤色：バッテリー充電中
  - 緑色：バッテリー充電完了
- 

## USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電

USB ケーブルを使用して、電話機と PC の USB ポートを接続することで、電話機内のバッテリーを充電できます。PC の USB ポートを使用してバッテリーを充電する場合、充電時間は長くなります。USB ケーブルと USB ポートを使用してバッテリーを充電する場合、次の図の手順に従ってください。



### 手順

- ステップ 1** USB ケーブルのミニ USB コネクタを電話機に差し込みます。
- ステップ 2** USB A タイプ コネクタを、PC の USB ポートに差し込みます。
- ステップ 3** 新しいハードウェアの検索ウィザードが開いた場合、
- [次へ] をクリックしてウィザードのダイアログボックスを使用します。
  - [新しいソフトウェアの更新] ダイアログボックスでは、[いいえ、今回は接続しません] をクリックして [次へ] をクリックします。
  - [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] をクリックして、[次へ] をクリックします。
  - しばらくすると、[このハードウェアをインストールできません] ダイアログボックスが表示されます。[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない] をクリックします。
  - [完了] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。
- ステップ 4** 電話機の状態行に「USB が接続されました」と表示されたら、インジケータランプを監視します。  
 バッテリーが充電中の場合、インジケータランプは赤色になります。バッテリーが完全に充電されると、インジケータランプは緑色になります。

## バッテリーの充電後


バッテリーを充電した後で、コールを開始および受信するには、電話機をオンにする必要があります。

### ヒント


アイドル状態の電話機のスクリーンは、一定の時間が経過した後でオフにできます。バッテリー電源の使用時に、電話機がオンでワイヤレス ネットワークに接続していることを知らせるために、インジケータ ランプが2秒ごとに緑色で点滅します。

## 電話機の電源投入

### 手順

- ステップ1 電話機の電源が入るまで、 (赤いボタン) を押し続けます。
- ステップ2 ワイヤレス ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードの入力が必要な場合があります。詳細については、[ユーザ名とパスワードの設定](#)、(25 ページ) を参照してください。Cisco Unified Communications Manager の認証と登録が完了すると、電話機のメイン画面が表示され、コールを発信および受信できるようになります。

## 信号強度の表示




 アイコンは、ワイヤレス アクセス ポイントと電話機間の信号強度を示します。電話機でコールを発信または着信するには、少なくとも1本のバーが立っている必要があります。



電話機を信号圏外に移動させると、ワイヤレス LAN との接続が失われます。 アイコンが表示され、ステータス回線に「サービス圏外に接近中」というメッセージが表示されます。

## ユーザ名とパスワードの設定

一部のネットワークでは、電話機に初めて電源を入れるとき、ワイヤレス ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードの設定が必要な場合があります。サポートは、システム管理者にお問い合わせください。






### 手順

- ステップ1  (設定) > [ネットワーク プロファイル] を選択します。
- ステップ2 現在のプロファイル名 ( が付いている) を強調表示して [表示] を押します。  
(注) このスクリーンがロックされていることを示す  アイコンが表示されます。サポートは、システム管理者にお問い合わせください。

- ステップ3** [WLAN の設定] を強調表示して [表示] を押します。
- ステップ4** [ユーザ名] または [パスワード] までスクロールして、 を押します。
- ステップ5** キーパッドを使用して、ユーザ名またはパスワードを [新しいユーザ名] または [新しいパスワード] フィールドに入力します。  
詳細については、[テキストの入力](#)、(26 ページ) を参照してください。
- (注) パスワードには最大で 32 文字の英数字を使用できません。
- ステップ6** 変更を確認するには、[オプション]>[保存] を選択します。
- ステップ7** メイン画面に戻るには、 (赤いボタン) を押します。

## テキストの入力

パスワードには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドで数字キーを押すとそのキーが制御するすべての文字および記号が、テキストの吹き出しに表示されます。押すたびに、別の文字オプションに移動します。

目的	操作
文字を入力する	入力する文字（大文字または小文字）が強調表示されるまで番号キーを押します。
数字を入力する	番号キーを押して、入力する数字を見つけます。
最後の文字を削除する	最後の文字または数字を削除するには、<< を 1 回押します。文字列全体を削除するには、<< を押し続けます。
スペースを入力する	 を押して、文字間にスペースを入力します。
特殊文字と記号を入力する	 を押して、次の記号の表示と入力を行います。*+ - / = \ ; ;
	 を押して、次の記号の表示と入力を行います。スペース , . “   _ ~ ’
	 を押して、次の記号の表示と入力を行います。# ? ( ) [ ] { }
	 を押して、次の記号の表示と入力を行います。! @ < > \$ % ^ &
編集モードをキャンセルする	[オプション]>[キャンセル] を選択して、メニュー オプションまたはメイン画面に戻ります。



## TAPS での登録

電話機をワイヤレス LAN ネットワークに接続した後で、Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して自動登録を行うことを、システム管理者から要求される場合があります。TAPS は新しい電話機を使用する場合や、既存の電話機を交換する場合に使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1 TAPS で登録を行うには、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力します。
  - ステップ 2 音声プロンプトに従います。場合によっては、市外局番も含め、完全な内線番号を入力する必要があります。
  - ステップ 3 電話機に確認のメッセージが表示されたら、電話を切ります。電話機が再起動します。
- 

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G 用アクセサリ

電話機で利用できるアクセサリは、次のとおりです。

- 標準および拡張バッテリー
- AC 電源装置（地理的地域別）
- デスクトップチャージャー
- マルチチャージャー
- キャリーケース
- ヘッドセット
- ロックセット



### 警告

危険な環境では、Cisco Unified IP Wireless Phone 7925G-EX で CSA または ATEX 認定アクセサリを使用します。

アクセサリの完全なリストおよび説明については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide*』を参照してください。

電話機および Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの詳細については、[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャー](#)、(125 ページ) を参照してください。

## ヘッドセット情報

ヘッドセットの使用については、[ハンドセット](#)、[ヘッドセット](#)、[スピーカフォン](#)、(117ページ)を参照してください。シスコではサードパーティの有線またはBluetoothワイヤレスヘッドセットをCisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および7926Gで使用できるか社内テストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットベンダーの製品の認定またはサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phoneを導入する場所特有の環境やハードウェアの不一致により、すべての環境に最適な単一の「ベストな」ソリューションは存在しません。シスコでは、ネットワークに多数のユニットを導入する前に、自社環境で最適に動作するヘッドセットについてテストすることを推奨します。

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) を遮断する高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質、および携帯電話や双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、[外部デバイスの使用](#)、(xxi ページ) を参照してください。

ヘッドセットがCisco Unified IP Phoneに不適切な主な理由として、ハミング音が聞こえることがあります。このハミング音は、リモートパーティに聞こえる場合と、リモートパーティとCisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。ハミング音またはブーンという音は、電灯、電気モーター、大型PCモニタなどのさまざまな外部機器から発生する場合があります。場合によっては、さまざまなヘッドセットの機械部分または電気部分が原因で、リモートの通話相手はCisco Unified IP Phone ユーザと通話するとき自身の声の反響が聞こえることもあります。

### Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット

Bluetoothワイヤレスヘッドセットを使用すると、電話機のバッテリー電力消費が増えてバッテリーの寿命が短くなる傾向があります。

Bluetooth無線ヘッドセットの動作に関して、ヘッドセットが電話機の直接のラインオブサイト内にある必要はありませんが、壁やドアなどの障害物、および他の電子デバイスからの干渉が接続に影響を及ぼすことがあります。

### オーディオの品質

物理的、機械的、技術的な性能以上に、ヘッドセットがユーザおよび相手側に優れた音声を提供する必要があります。音声は主観的なものであり、Ciscoでヘッドセットの性能を保証することはできませんが、以下のサイトで紹介しているヘッドセットの一部は、Cisco Unified IP Phone で良好に動作することが確認済みです。

ただし、お客様独自の環境でのヘッドセットのテストと、その結果によりパフォーマンスが適切であるかどうかの判断については、すべてお客様の責任で行っていただくものです。

お客様の電話機対応の有線ヘッドセット、およびBluetoothワイヤレスヘッドセットの詳細については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide*』および次のWebサイトを参照してください。

- <http://www.plantronics.com>

- <http://www.jabra.com>
- <http://www.jawbone.com>

## ロックセットおよびケーブルロックで電話機を固定

ロックセットを Cisco から注文して電話機をデスクトップに固定することができます。詳細については、『Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide』を参照してください。



(注) ケーブルロックはロックセットに含まれていません。



### 手順

- ステップ1** セキュリティケーブルをポストのまわりに巻くか、デスクトップの穴に通します。セキュリティケーブルの端のループをCリングに通します。
- ステップ2** ケーブルループを通したCリングを電話の背面のスロットに挿入します。
- ステップ3** ダイヤル錠を使用してCリングの端をケーブルループおよび電話機のまわりに固定します。

■ ロック セットおよびケーブル ロックで電話機を固定



## 第 3 章

# コール機能

---

さまざまな機能やサービスを利用してコール処理タスクを実行できます。利用可能な機能は、それぞれ異なります。詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

- [基本的なコール オプション, 32 ページ](#)
- [高度なコール オプション, 35 ページ](#)
- [コールへの応答, 41 ページ](#)
- [コールの切断, 44 ページ](#)
- [保留および復帰, 44 ページ](#)
- [ミュート, 46 ページ](#)
- [複数のコール, 47 ページ](#)
- [コール転送, 48 ページ](#)
- [コール転送, 50 ページ](#)
- [サイレント, 51 ページ](#)
- [会議コール, 53 ページ](#)
- [インターコム コール, 58 ページ](#)
- [スピードダイヤル, 60 ページ](#)
- [コール ピックアップ, 64 ページ](#)
- [コール パーク, 66 ページ](#)
- [ハント グループ, 67 ページ](#)
- [共有回線, 68 ページ](#)
- [回線の状態 \(BLF\) , 71 ページ](#)
- [セキュアなコール, 72 ページ](#)
- [不審なコールのトレース, 73 ページ](#)

- ・ [プライオリティ（優先）コール, 74 ページ](#)

## 基本的なコールオプション




次のセクションでは、Wireless IP Phone で簡単にコールを発信できる方法について説明しています。



(注)


システム管理者は、ワイヤレス ネットワークの範囲外になると通知音で警告を出すように電話機を設定できます。ワイヤレスネットワークの範囲内にいる場合のみ電話を使用できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### ヒント

- 電話番号をダイヤルしはじめると、ダイヤルしている番号と一致する電話番号が発信履歴から検索されて表示されます。これを自動ダイヤルと呼びます。自動ダイヤルで表示された電話番号にコールするには、目的の番号までスクロールして  を押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、<< を押して数字を消します。
- 最後にかけた電話番号にリダイヤルするには、 を 2 回押します。
- 電話機で国際通話履歴が設定されている場合は、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリのエントリにプラス (+) 記号が付いています。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールの相手に通知音が流れる場合、そのコールは監視または録音される可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- アクティブコール中に数字を押すと、その数字が 2 秒間スクリーンに表示されます。さらに数字を押すと、数字がもう一度表示されます。
- 電話機から通知音が流れた場合は、ワイヤレス ネットワークの範囲外にいる可能性があります。電話機を使用するには、信号が強いことを示すアイコン  が電話機で確認できる場所まで移動します。
- Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用して電話番号をリダイヤルする詳細については、ヘッドセット メーカーのマニュアルを参照してください。

## ハンドセットでのコールの発信

### 手順




- 
- ステップ1** 電話番号をダイヤルします。
- ステップ2**  を押してコールを発信します。  
ダイヤル トーンは聞こえません。
- 

### 関連トピック

[コールへの応答, \(41 ページ\)](#)

## スピーカ モードでのコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1**  を押し続けてスピーカをオンにします。
- ステップ2** 電話番号をダイヤルします。
- ステップ3**  を押してコールを発信します。
- ステップ4** もう一度  を押し続けると、スピーカ モードがオフになります。
- 

### 関連トピック

[ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン, \(117 ページ\)](#)

## 番号のリダイヤル

### 手順

-  を2回押すか、[オプション]>[リダイヤル]を選択します。

## 既存のアクティブコールでのコールの発信（同じ回線）

### 手順







- 
- ステップ1** [保留] を選択します。
- ステップ2** [オプション]>[発信] を選択します。  
ダイヤル トーンが聞こえます。
- ステップ3** 番号をダイヤル、リダイヤル、またはスピードダイヤルします。
- 

### 関連トピック

[保留および復帰](#)、（44 ページ）

## 電話帳からのコールのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1**  を選択します。
- ステップ2** [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。
- ステップ3** 連絡先の名前を強調表示してから、次のいずれかの操作を実行します。
- 電話番号のアイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。
    -  勤務先電話
    -  自宅電話
    -  携帯電話
    -  他の電話
  - [オプション]>[詳細] を選択して、電話番号を強調表示します。
- ステップ4**  を押すか、または [オプション]>[ダイヤル] を選択します。
- 

### 関連トピック

[社内電話帳](#)、（86 ページ）



## 通話履歴のエントリからのダイヤル

### 手順

#### ステップ1




を押します。

#### ステップ2

[不在履歴]、[着信履歴]、または[発信履歴]を選択します。

#### ステップ3

リストの番号のキーを押すか、リストまでスクロールして  を押します。

### 関連トピック

[通話履歴](#), (77 ページ)

## 国際電話番号のダイヤル

### 手順

#### ステップ1



を押し続けます。

プラス記号 (+) が表示されます。

#### ステップ2

+記号の後に、国コードを付けて電話番号を入力します。

#### ステップ3



を押すか、または[オプション]>[ダイヤル]を選択します。

## 高度なコールオプション

お使いの電話機で利用できる特別な機能やサービスを使用して、コールを発信することができます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



### ヒント

スピードダイヤル、コールレコード、またはディレクトリリストに関連付けられている回線にコールを発信する前に、回線が話し中かどうかを確認します。[回線の状態 \(BLF\)](#), (71 ページ) の説明に従って、回線ステータスのインジケータを確認してください。

## スピードダイヤルでの連絡先番号の発信

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

- スピードダイヤルのホットキーを約2秒間押し続けます。  
 (注) 2桁の番号をダイヤルする場合、最初の数字を入力し、次に2番目の数字を約2秒間押し続けます。
-  (ディレクトリ) > [スピードダイヤル] を選択し、スピードダイヤルを強調表示して  を押します。

### 関連トピック





[社内電話帳, \(86 ページ\)](#)

[スピードダイヤル, \(60 ページ\)](#)

## 設定済みのスピードダイヤル番号のダイヤル

Web で設定した回線表示のスピードダイヤル番号にダイヤルするには、次の手順を使用します。

### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** スピードダイヤル  までスクロールします。
- ステップ3**  または  を押して、コールを開始します。
- 




### 関連トピック

[スピードダイヤル, \(60 ページ\)](#)

## 既存のアクティブコールでのコールの発信（異なる回線）

### 手順

---

- ステップ1 [保留] を押します。
- ステップ2  を押します。
- ステップ3 別の回線までスクロールして  を押します。
- ステップ4 電話番号をダイヤルします。
- ステップ5  を押してコールを開始します。
- 



### 関連トピック

[保留および復帰, \(44 ページ\)](#)

## セカンダリ回線のコールの発信

### 手順

---

- ステップ1  を押して、別の回線までスクロールします。
- ステップ2 電話番号をダイヤルします。
- ステップ3  を押してコールを開始します。
- 


### 関連トピック

[複数のコール, \(47 ページ\)](#)

## 社内ディレクトリからのダイヤル

### 手順


#### ステップ 1

 > [ディレクトリ サービス] > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。

ステップ 2 キーパッドを使用して名前を入力します。

ステップ 3 [オプション] > [送信] を押します。

ステップ 4 リストの番号のキーを押すか、リストまでスクロールします。

ステップ 5 [ダイヤル] または  を押します。

### 関連トピック

[ディレクトリ, \(80 ページ\)](#)

## 折返し

話し中または呼び出し中の内線が応答可能になったときに、折返しを使用して通知を受け取ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### 手順

ステップ 1 ビジー音または呼出音が聞こえている間に、[オプション] > [折返し] を選択します。

ステップ 2 電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。



ステップ 3 回線が使用可能になったら、[ダイヤル] を押してコールを発信します。

## プライオリティ（優先）コールの開始

お使いの電話機によっては、Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 機能を設定することができます。MLPP を使用すると、重要なコールに高い優先順位を付けることができます。

MLPP コールを発信するには

手順



- ステップ 1 MLPP アクセス番号を入力します。
- ステップ 2  を押します。
- ステップ 3 電話番号をダイヤルします。
- ステップ 4  を押します。

関連トピック

[プライオリティ \(優先\) コール, \(74 ページ\)](#)

## 個人アドレス帳 (PAB) エントリからのダイヤル

手順

- ステップ 1  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。
- ステップ 2 [個人アドレス帳] を選択してリストを検索します。
- ステップ 3 [オプション] > [送信] を押します。
- ステップ 4 リストまでスクロールして  を押します。

関連トピック


[ディレクトリ, \(80 ページ\)](#)

## CMC コールまたは FAC コールの発信

システム管理者は、コールの開始時にクライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) の入力を要求するように電話機を設定できます。CMCはコールしているクライアントを識別し、FACはコールを開始する権限がユーザにあるかどうかを確認します。


詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 手順

- 
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
- ステップ2  を押します。
- ステップ3 トーンの後で、CMC または FAC を入力します。
- 

## エクステンション モビリティ プロファイル コールの発信

## 手順




- 
- ステップ1  > [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ2 ログイン情報を入力します。
- 

## 関連トピック

[Cisco エクステンション モビリティ, \(97 ページ\)](#)

## Push to Talk コールの発信

## 手順

- 
- ステップ1  > [Push to Talk サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ2  または [通話] を使用して発信します。
- ステップ3  または [停止] を押して終了します。
- 

## 関連トピック

[Push to Talk サービス, \(98 ページ\)](#)

## ファストダイヤルコールの発信

ファストダイヤルを使用できるためには、この機能がシステム管理者によってあらかじめ設定されていることが必要です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### 手順

#### ステップ1



> [ファストダイヤル サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。

#### ステップ2

インデックス番号までスクロールするか、インデックス番号を押して、エントリを検索します。

#### ステップ3



を押します。

### 関連トピック

[ファストダイヤル](#), (61 ページ)

## コールへの応答

電話機が対応している場合、コールへ応答するときいくつかのオプションが利用できます。

### ヒント

- コールへの応答でボタンを使用する場合は、[キーパッド設定](#), (108 ページ) を参照してください。
- キーパッドがロックされている場合も、着信コールに応答できます。
- 着信コールへ応答する前にアプリケーションまたはサービスを利用していた場合、アプリケーションまたはサービスはコール終了後に再開します。
- 接続されたコールから (Bluetooth ワイヤレスヘッドセットを使用して) 呼び出し中のコールへ切り替える方法は、Bluetooth ワイヤレスヘッドセットのマニュアルにある手順を参照してください。
- (Bluetooth ワイヤレスヘッドセットを使用して) ボイスメールに直接コールを発信するには、Bluetooth ワイヤレスヘッドセットのコール拒否機能を利用します (正確な機能名は異なる場合があります)。詳細については、Bluetooth ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。システム管理者が電話機に即転送を設定していない場合、電話機はコール拒否要求を無視します。

### 関連トピック


[複数のコール](#), (47 ページ)

[ボイスメッセージ](#), (95 ページ)

[コールパーク, \(66 ページ\)](#)  
[不審なコールのトレース, \(73 ページ\)](#)  
[コールピックアップ, \(64 ページ\)](#)

## コールへの応答

### 手順

 を押します。



### 関連トピック

[任意のキーによる応答, \(109 ページ\)](#)

## 着信コールの呼出音の消音



着信コールの呼出音が鳴らないようにして、強制的に別の電話番号に転送することができます。転送されたコールを受信する電話番号は、無応答の転送先番号です。この番号は、ボイスメールの番号や別のユーザの電話番号にすることができます。

### 手順

 または  を押します。  
コールは呼出音が出ないまま、無応答の転送先番号に転送されます。

## 接続中のコールから呼出中のコールに切り替えて応答（ハンドセットを使用）

### 手順

 または  を押して新しいコールに応答すると、最初のコールは自動的に保留になります。

### 関連トピック

[複数のコール, \(47 ページ\)](#)



## コール待機を使用した応答

### 手順

応答ボタンを押します。

## コールをボイスメールに直接送信（ハンドセットを使用）

### 手順


[即転送]を押します。

### 関連トピック

[ボイス メッセージ](#)、(95 ページ)

## ハンドセットを使用したプライオリティ コールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** 現在のコールを切断します。
- ステップ 2** 応答ボタンまたは  を押します。
- 

### 関連トピック

[プライオリティ（優先）コール](#)、(74 ページ)

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用したプライオリティ コールへの応答


### 手順

- 
- ステップ 1** 現在のコールを切断します。
- ステップ 2** 呼び出し中のコールに応答します。詳細については、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。
-

### 関連トピック

[プライオリティ（優先）コール](#)、[\(74 ページ\)](#)

## 自動応答コール

自動応答機能の設定については、システム管理者にお問い合わせください。呼出音が1度か2度鳴った後で、コールはハンドセットまたはヘッドセットに自動的に接続され、ユーザが  を押す必要はありません。

### 関連トピック


[自動応答](#)、[\(123 ページ\)](#)

## コールの切断

コールを切断するには、2つのオプションのうち一方を実行します。

## コールの終了

### 手順


、[終了]、または[オプション]>[終了]を選択します。

## 同じ回線上のコールの切断、別のコールの保持

### 手順

[終了]または[オプション]>[終了]を選択します。必要な場合は、最初にコールを保留から削除します。

## 保留および復帰

コールは保留および復帰できます。コールを保留中にすると、コール表示内の発信者 ID の横に  [保留] アイコンが表示されます。

電話機で保留復帰機能が有効になっている場合、一定時間の後で保留にしたコールを復帰させ、呼出音を鳴らすことができます。これらの「復帰された」コールは、復帰するまで保留されます。

電話機は、復帰コールの存在を次のように示します。

- 1 回の呼出音（または、電話回線の設定によってはフラッシュもしくはビープ音）を一定間隔で繰り返して通知する。
- 電話スクリーンの下部のステータス バーに簡単な「保留復帰」メッセージを表示する。



(注) 回線上にアクティブなコールや保留中のコールがある場合に保留中のコールを復帰させるには、アクティブなコールを終了させるか、または保留にします。

#### ヒント

- 通常、保留機能を実行すると、保留中の相手には音楽またはビープ音が聞こえます。
- 着信コールの通知の受信とコールの復帰が同時に行われた場合、デフォルトでは、着信コールが電話スクリーンに表示されます。こうした優先度の設定は、システム管理者が変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は実際にコールを保留中の電話機でのみ鳴ります。共有回線上の他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の通知時間は、システム管理者が決定します。
- (Bluetooth ワイヤレスヘッドセットを使って) 現在の回線から保留中のコールを削除する方法は、Bluetooth ワイヤレスヘッドセットのマニュアルにある手順を参照してください。

## コールの保留

保留機能を使用すると、保留中の相手に音楽やビープ音が流れるのが一般的です。

#### 手順

- ステップ 1 保留にするコールが強調表示されていることを確認します。
- ステップ 2 [保留] を押します。


## 現在の回線で保留中のコールの解除（ハンドセットを使用）

#### 手順

- ステップ 1 適切なコールが強調表示されていることを確認します。
- ステップ 2 [復帰] を押します。

## 別の回線で保留中のコールの解除

### 手順

- 
- ステップ 1**  を押して別の回線に変更します。
- ステップ 2** [復帰] を押します。  
(注) その回線上で保留中のコールが 1 つの場合は、そのコールが自動的に再開されます。
- ステップ 3** 別のコールも保留になっている場合は、目的のコールまでスクロールして [復帰] を押します。
- 

## 共有回線のワイヤレス電話機またはデスクの電話機へのコールの転送

### 手順





- 
- ステップ 1** 共有回線のアクティブ コールがつながっている電話機で [保留] を押します。
- ステップ 2** 共有回線の別の電話機の [復帰] を押します。
- 

## ミュート

ミュートを有効にすると、コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。ミュートは、電話機またはヘッドセットで使用できます。

## コールのミュートとミュート解除


### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機をミュートに設定するには、電話機の左側にある  を押します。  アイコンが電話機スクリーン上部に表示されます。
- ステップ 2** ミュートを解除するには、  をもう一度押します。  アイコンの表示が消えます。
-

## 複数のコール

1つ以上の回線上で複数のコール間を切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーン上で自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。

### ヒント

- 電話機では6件まで回線を持つことができますが、電話スクリーンには1つの回線しか表示されません。その他の回線を表示するには、 (回線表示) ボタンを押します。
- 電話機は回線あたり複数のコールを持つことができますが、電話機あたり24コール以上は保持できません。
- 接続中のコールから着信コールへ (Bluetoothワイヤレスヘッドセットを使用して) 切り替えるには、まずコールを保留にするか、またはコールを終了してから着信コールに応答します。詳細については、Bluetoothワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。


## 接続されているコール間の切り替え (1つの回線)

### 手順

- 
- ステップ1** 切り替えるコールを強調表示します。
  - ステップ2** [復帰]を押します。  
アクティブコールがある場合、そのコールは保留になり、選択したコールが復帰します。
- 


## 異なる複数の回線に接続されているコールの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1**  を押して別の回線に変更します。  
その回線上で1つのコールが保留になっている場合は、そのコールが自動的に再開されます。
  - ステップ2** 別のコールも保留になっている場合は、目的のコールまでスクロールして強調表示し、[復帰]を押します。
-

## 接続中のコールから呼出中のコールに切り替えて応答（ハンドセットを使用）

### 手順

- 
- ステップ 1** コールが現在の回線で呼出中の場合は、 を押します。
- ステップ 2** コールが別の回線で呼出中の場合は、 を押して他の回線に切り替えてから  を押します。アクティブ コールは保留になります。
- 

## コール転送

転送機能は、接続中のコールをリダイレクトします。転送先は、コールを転送する先の番号です。

### ヒント

- 電話機でオンフック転送が利用できる場合、切断して転送を完了するか、または [オプション] > [転送] を選択して切断します。
- 電話機でオンフック転送が利用できない場合、切断する前に [転送] を再度使用します。そうしない場合、コールは転送される代わりに保留となります。
- 保留中のコールをリダイレクトするのに [転送] は使用できません。転送前にコールを保留から解除するには、[復帰] を選択します。

## 転送先の相手と話さずにコールを転送

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブ コールで、[オプション] > [転送] を選択します。
- ステップ 2** 転送先の番号をダイヤルします。
- ステップ 3** [オプション] > [転送] をもう一度選択して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。
- (注) 電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、電話を切って転送を完了することもできます。

## 転送先の相手と話してからコールを転送（打診転送）

### 手順

- ステップ1 アクティブ コールで、[オプション]>[転送] を選択します。
- ステップ2 転送先の番号をダイヤルします。
- ステップ3 転送先の相手が応答するのを待ちます
- ステップ4 [オプション]>[転送] をもう一度選択して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。  
電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、電話を切って転送を完了することもできます。

## 2つのコールを相互転送（直接転送）してから切断

### 手順

- ステップ1 同じ回線上のコールまでスクロールして強調表示します。
- ステップ2 [オプション]>[選択] を選択します。選択したコールの横に  アイコンが表示されます。
- ステップ3 同じ回線の別のコールまでスクロールして強調表示します。
- ステップ4 チェックマークの付いたコールを強調表示されている回線に転送するには、[オプション]>[D 転送] を選択します。  
この2つのコールが互いに接続されて、操作しているユーザはコールから削除されます。
- ステップ5 この2つのコールの発信者と接続したい場合は、[参加] を選択します。

## ボイスメールへのコールのリダイレクト

コールをボイスメールに自動的に転送できます。iDivertは、アクティブコール、呼出中のコール、保留中のコールで使用できます。

### 手順

- [オプション]>[即転送] を選択します。

## コール転送

次のコール転送機能を使用して、電話機から別の番号へ着信コールをリダイレクトできます。

### 無条件のコール転送（すべてのコールの転送）


着信するすべてのコールに適用されます。

### 制限付きのコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）

状況に応じて、特定のコールに適用されます。

すべてのコールの転送は、電話機またはユーザ オプション Web ページからアクセスできます。制限付きのコール転送機能は、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。

電話機にすべてのコールの転送が設定されている場合、両方のインジケータが表示されます。

- プライマリ回線の横の  アイコン。
- ステータス回線内のコール転送先番号。

### ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- コールは従来のアナログ電話機または別の IP 電話機に転送できますが、システム管理者がコール転送機能の発信先番号を社内に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者がコール転送オーバーライド機能を有効にすると、転送コールを受信した人が発信先にかけることができます。オーバーライド機能が有効の場合、転送先の電話機から自分の電話機へのコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 入力した転送先の電話番号が転送ループを生じさせる、または転送チェーンで許可されている最大リンク数を超えるような場合は、電話機側ですべてのコールの転送を直接設定しようとしても拒否されることがあります。

## プライマリ回線のすべてのコールの転送設定

### 手順

[オプション]>[不在]を選択し、転送先の電話番号を入力します。アイコンおよびすべてのコールの転送先の番号がスクリーンに表示されます。



## プライマリ回線のすべてのコールの転送をキャンセル

### 手順

[オプション]>[不在]を選択します。アイコンおよびすべてのコールの転送の転送先番号がディスプレイからクリアされます。

## リモートでのコールの転送、電話機の非プライマリ回線のコールの転送の設定またはキャンセル

プライマリ回線以外の回線でコールの転送が有効になっている場合、コールの転送中の確認メッセージは電話機に表示されません。このため、ユーザオプション Web ページで設定を確認する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** コールの転送オプションにアクセスします。
- 

### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの使用, \(138 ページ\)](#)
- [Web での回線の設定, \(149 ページ\)](#)

## サイレント

サイレント (DND) 機能を使用して、電話機の呼出音をオフにする、または着信コールの音またはビジュアル通知をすべてオフにできます。電話機のサイレント設定はシステム管理者が行います。

電話機でサイレントとコール転送の両方が有効な場合、コール転送時に発信者ではビジー トーンが聞こえません。

サイレントは、次の他のコール機能と一緒に使用できます。


- サイレントはインターコム コールに影響しません。
- サイレントはプライオリティ コールをブロックしません。プライオリティ コールは常に呼出音が鳴ります。
- サイレントと自動応答の両方が有効な場合、インターコム コールのみ自動応答されます。

## サイレントのオン

### 手順

**ステップ 1** サイレントをオンにするには、次のいずれか1つを実行します。


- [オプション]>[サイレント]を選択します。

-  を押し、[サイレント]ラジオボタンを選択してサイレントをオンにします (●)。

電話機に「サイレントはアクティブです」と表示され、呼出音がオフになります。

**ステップ 2** サイレントをオフにするには、次のいずれか1つを実行します。

- [オプション]>[サイレント]を選択します。

-  を押し、[サイレント]ラジオボタンを選択してサイレントをオフにします (○)。

## サイレント (DND) 設定のカスタマイズ

システム管理者により、サイレント設定が [ユーザ オプション] ページに表示されるように設定されている場合、次の手順に従って設定をカスタマイズできます。

### 手順

**ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。

**ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。

**ステップ 3** 次のオプションを設定できます。

- サイレント：サイレントを有効または無効に設定します。
- サイレント オプション：[コール拒否]（音と表示の通知をすべてオフ）または [呼出音オフ]（呼出音のみをオフ）を選択します。
- DND着信呼警告（設定したどちらかのサイレントオプションに適用されます）：アラートをビーブ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラートを無効にします。または、[なし]を選択して、システム管理者が設定したアラート設定を使用します。

### 関連トピック

[ユーザ オプション](#), (135 ページ)

## 会議コール

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の通話相手と同時に会話できます。

## 会議機能

ニーズや電話機で利用できる機能に応じて、さまざまな方法で会議を実行できます。

- **会議**：参加者それぞれに発信して標準的な（アドホック）会議を実行できます。[会議] ソフトキーを使用します。会議はほとんどの電話機で実行できます。
- **参加**：接続済みのコールを組み合わせる標準的な（アドホック）会議を実行できます。[参加] ソフトキーを使用します。
- **C 割込**：自分自身を共有回線上のコールに追加して標準的な（アドホック）会議を行えます。[C 割込] ソフトキーを使用します。[C 割込] は、共有回線を使用する電話機でのみ利用できます。
- **ミーティング**：会議番号をコールして会議への参加を実行できます。[ミーティング] ソフトキーを使用します。

## アドホック会議

アドホック会議では、各参加者にコールして会議コールに追加できます。会議コールを設定する機能は、ほとんどの電話機についています。

詳細については、[会議参加者リスト](#), (57 ページ) を参照してください。

### ヒント

- コールを会議に追加するには、コールが同じ回線であることが必要です。コールが別の回線の場合は、[会議] または [参加] を使用する前に、コール同じ回線に転送します。
- 電話機の設定によっては、会議を開始した後で会議を離れると、会議が終了する場合があります。すべての会議を続けるためには、会議を転送してから切断します。

## 会議の作成

システム管理者は、会議の開催者以外のユーザが、参加者の追加または削除を実行できるかどうかを決定します。


### 手順

- 
- ステップ1 接続コールから、[オプション]>[会議]を選択します。
  - ステップ2 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ3 コールが接続されるまで待ちます。
  - ステップ4 [オプション]>[会議]をもう一度選択して、参加者をコールに追加します。
  - ステップ5 参加者を追加するには、この操作を繰り返します。
- 

## 会議の参加の終了

### 手順

次のいずれかのオプションを選択します。

- 
- [終了]
- [オプション]>[終了]

## 会議への参加

会議への参加では、2つまたはそれ以上の接続中のコールを組み合わせて会議を実行し、参加することができます。

### ヒント

- 1つの会議に複数の相手を参加させることが多い場合は、まず参加するコールを選択してから、[オプション]>[参加]を押して操作を完了します。
- コールを参加させると、発信者 ID は「会議」に変わります。
- [参加] または [D 転送] ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合することができます。この機能が利用可能かについては、システム管理者に確認してください。

### 関連トピック


[会議参加者リスト、\(57 ページ\)](#)

## 単一回線の既存のコールを結合した会議の作成

単一回線にある複数のコールを接続する場合は、次の手順に従います。

手順

ステップ 1

アクティブコールから  を押して、会議に参加させる別のコールを強調表示し、[オプション]>[選択] を選択します。

選択したコールの横に  アイコンが表示されます。

アクティブコールは自動的に選択されることに注意してください。

ステップ 2

追加するコールごとに、この手順を繰り返します。

ステップ 3

選択したコールから、[オプション]>[参加] を選択します。


## 複数の回線に接続しているコールを結合した会議の実行

手順

ステップ 1

アクティブコールで、[オプション]>[参加] を選択します。

ステップ 2

 を押して、会議に含めるコールの回線を選択します。次のいずれかのアクションが行われます。

- コールが結合される。
- 参加するコールを選択するプロンプトが表示される。参加するコールを強調表示し、[オプション]>[選択] を選択してから、[オプション]>[参加] を選択して、操作を完了します。

ステップ 3

お使いの電話機で複数の回線上のコールを結合できない場合は、コールを単一回線に転送してから参加します。

## 会議の割込み

[C 割込] を使用して共有回線上のコールに自分自身を追加することで、会議を作成できます。

## 共有回線のコール割り込みによる会議の作成

### 手順

#### ステップ 1



を押して、共有回線のコールを選択します。

#### ステップ 2

[オプション]>[C 割込]を選択します。

### 関連トピック

[共有回線](#), (68 ページ)

[会議参加者リスト](#), (57 ページ)

## ミーティング会議

ミーティング会議では、会議番号をコールして会議に参加することができます。すべての参加者が電話を切ると、会議は終了します。

### ヒント

非セキュアな電話機からセキュアなミーティング会議番号へコールした場合、「認証されていないデバイス」というメッセージが電話機に表示されます。

### 関連トピック

[セキュアなコール](#), (72 ページ)

[会議参加者リスト](#), (57 ページ)

[会議コールのセキュリティの確認](#), (58 ページ)

## ミーティング会議の開始

参加者は、ミーティング会議に参加する前に会議にコールすると、話し中のトーンが聞こえます。この場合、参加者はコールをかけ直す必要があります。

### 手順

#### ステップ 1

システム管理者からミーティング電話番号を取得します。

#### ステップ 2

番号を参加者に配布します。

#### ステップ 3

会議の開始準備が整ったら、[オプション]>[ミーティング]を選択します。

#### ステップ 4

ミーティング会議番号をダイヤルします。

#### ステップ 5




を押します。

参加者がダイヤルして会議に参加できるようになります。

## ミーティングへの参加

### 手順


- ステップ1 ミーティング番号（会議開催者から取得）にダイヤルします。
- ステップ2  を押します。
- ステップ3 ビジー音が聞こえる場合は、会議開催者がまだ会議に参加していません。コールを切断してから、もう一度かけ直す必要があります。

## 会議参加者リスト

会議中に参加者のリストの表示や参加者の削除ができます。参加者の削除ができるかどうかは、システム管理者が決定します。





### 会議参加者のリストの表示、参加者の削除

#### 手順

- ステップ1  を押して、アクティブな会議を選択します。
- ステップ2 [オプション]>[参加者]を選択します。  
参加者は会議への参加順に一覧され、一番最近の参加者が一番上に示されます。  
会議開催者は、名前の横にアスタリスク (\*) が付けられます。
- ステップ3 参加者のリストを更新するには、[オプション]>[更新]を選択します。参加者の最新のリストが更新されてスクリーンに表示されます。
- ステップ4 参加者を削除するには、参加者の名前を強調表示して、[オプション]>[削除]を選択します。  
参加者を削除できるのは、会議開催者だけです。
- ステップ5 会議コールの最後の参加者を削除するには、[オプション]>[ドロップ]を選択します。  
参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。

## 会議コールのセキュリティの確認


### 手順

- 
- ステップ1** 電話機のスクリーンで[会議]の後ろに  アイコンまたは  アイコンがあることを確認します。このアイコンは、会議がセキュリティで保護されていることを示します。
- ステップ2** 参加者のコールが保護されているかどうかを確認するには、電話機のスクリーンで参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンがあることを確認します。
- 

## 会議の参加の終了

### 手順

次のいずれかの操作を選択します。

- 
- [終了]
- [オプション]> [終了]

コールが会議から切断されます。

## インターコム コール

スピーカフォンモードでコールに自動応答し、ミュートが有効な発信先の電話機にインターコムコールを発信できます。一方向のインターコムコールでは、相手にショートメッセージを送信できます。ハンドセットまたはヘッドセットが利用中の場合、相手は音で着信を確認します。相手が実行中のコール アクティビティは同時に継続されます。

インターコム通知トーンを受信した相手は、次の操作を選択できます。

- マイクフォンをミュートにして、インターコム回線を選択して発信者のメッセージを聞く（発信者のメッセージを聞くことはできますが、自分の声は相手に聞こえません）。
- [終了] ソフトキーを押してインターコムコールを終了する。メッセージを聞きたくない場合は、この操作を行います。
- インターコム回線を選択して、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して発信者と通話する。インターコムコールが双方向接続になることで、発信者と通話できます。



インターコム機能を使用するときは、次の点に注意します。



- インターコム回線からは、その他のインターコム回線へのみダイヤルできます。
- 一度に使用できるインターコム回線は1回線のみです。
- アクティブなコールがモニタリングまたは記録されている場合、インターコム コールを受信または発信できません。
- インターコム コールは保留できません。

#### ヒント

エクステンションモビリティプロファイルから電話機に毎日ログインする場合、システム管理者は、エクステンションモビリティプロファイルにインターコム機能を設定する必要があります。



## 事前に設定した目的のインターコムへのインターコム コールの発信

#### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2**  (インターコム回線) を選択し、目的のインターコム番号にダイヤルします。
- ステップ3** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
- 

## インターコム番号へのインターコム コールの発信

#### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2**  (インターコム回線) を選択し、目的のインターコム番号をダイヤルします。
- ステップ3** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
-

## インターコム コールの受信


### 手順

**ステップ1** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。

- 一方向のオーディオでメッセージを聞く。

- 



-  を押して発信者に話しかけ、インターコム回線を選択する。

**ステップ2** [終了] を押してコールを終了します。

## スピードダイヤル





スピードダイヤルでは、ホットキーを押すか、またはリストから選択することでコールを発信できます。設定に応じて、電話機は次のスピードダイヤル機能をサポートします。


- [スピードダイヤルホットキー](#), (60 ページ)
- [回線表示のスピードダイヤル](#), (61 ページ)
- [短縮ダイヤル](#), (61 ページ)
- [ファストダイヤル](#), (61 ページ)
- [スピードダイヤルとファストダイヤル](#), (62 ページ)

## スピードダイヤルホットキー

スピードダイヤルホットキーでは、電話機にローカルに保存されている電話帳の連絡先番号にすばやくダイヤルできます。電話機では、最大 99 のスピードダイヤルホットキーを設定できます。

電話帳のメイン画面には、割り当てられている電話機の種類に応じて、次のスピードダイヤルアイコンが表示されます。

-  勤務先電話
-  自宅電話
-  携帯電話
-  他の電話

電話帳の連絡先の詳細情報では、スピードダイヤルホットキーに割り当てられている番号の下に、スピードダイヤルアイコン (  ) が表示されます。

#### 関連トピック

- [スピードダイヤルとファストダイヤル, \(62 ページ\)](#)
- [社内電話帳, \(86 ページ\)](#)

## スピードダイヤル コールの開始

### 手順

コールを開始するには、次のいずれかの操作を実行します。

- スピードダイヤルホットキーを押し続けます。
- [ディレクトリ]>[スピードダイヤル]で番号を選択します。

## 回線表示のスピードダイヤル

回線表示のスピードダイヤルを使うと、ローカルの電話帳に保存されていない番号へ素早くダイヤルできます。回線表示のスピードダイヤル番号は、ユーザ オプション Web ページから設定します。電話機には、(回線とスピードダイヤル番号の組み合わせで) 6 件まで番号を表示できます。

### 関連トピック

- [スピードダイヤルとファストダイヤル, \(62 ページ\)](#)
- [Web でのスピードダイヤル, \(140 ページ\)](#)

## 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、短縮ダイヤルコードを使用して電話番号をダイヤルできます。短縮ダイヤルはユーザ オプション Web ページから設定します。

### 関連トピック

- [スピードダイヤルとファストダイヤル, \(62 ページ\)](#)
- [Web でのスピードダイヤル, \(140 ページ\)](#)

## ファストダイヤル

ファストダイヤルでは、ファストダイヤルリストから発信できます。最初にファストダイヤルサービスに登録し、ユーザ オプション Web ページからファストダイヤルコードを設定する必要

があります。また、Web上の個人アドレス帳にファストダイヤルコードを割り当てることができません。



(注) ファストダイヤル機能の設定は、システム管理者が行います。

#### 関連トピック

[スピードダイヤルとファストダイヤル](#), (62 ページ)

[Webでのスピードダイヤル](#), (140 ページ)

[Webでのパーソナルディレクトリ](#), (141 ページ)

## スピードダイヤルとファストダイヤル

スピードダイヤルとファストダイヤルを使用する前に、電話帳からスピードダイヤル機能を設定する必要があります。

#### 関連トピック

[社内電話帳](#), (86 ページ)

[ユーザオプション](#), (135 ページ)

## スピードダイヤルホットキーを使用した電話帳の連絡先へのコール



#### 手順

**ステップ 1** 電話帳から、スピードダイヤルホットキーを設定します。

**ステップ 2** 次の操作のいずれかを実行します。




- スピードダイヤルのホットキーを約 2 秒間押し続けます。

(注) 2桁の番号をダイヤルする場合、最初の数字を入力し、次に2番目の数字を約 2 秒間押し続けます。

-  > [スピードダイヤル] を選択して、スピードダイヤルを強調表示し、 を押しします。

## スピードダイヤルを使用した連絡先以外の番号へのコール

### 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤルの番号を設定します。
  - ステップ2** コールを発信するには、 を押します。
  - ステップ3** ラベルが付いたスピードダイヤル番号までスクロールして  を押します。  
(注) [回線表示] では、電話番号に続いて、 アイコンが付いたスピードダイヤル番号が表示されます。6つの項目（回線とスピードダイヤルの組み合わせ）まで表示できます。
- 



## 短縮ダイヤルでのコールの開始

### 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページで短縮ダイヤル コードを設定します。
  - ステップ2** 発信するには、短縮ダイヤル コードを入力します。
  - ステップ3** [オプション]>[短縮] を押します。
- 


## ファストダイヤルでのコールの開始

### 手順

- 
- ステップ1** ファストダイヤルサービスに登録し、ユーザ オプション Web ページでファストダイヤルコードを設定します。[ユーザ オプション](#)、[\(135 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ2** コールを発信するには、電話機で  >[ファストダイヤル] サービスを選択します（名前は異なる場合があります）。
  - ステップ3** リストまでスクロールして  を押します。
-

## 回線表示のスピードダイヤル コールの開始


### 手順

[回線表示] でスピードダイヤル (  ) を選択します。

## コール ピックアップ

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

### ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- [Gピック] を選択して回線番号を入力すると、電話機はその特定の回線上で呼び出し中のコールをピックアップします。
- 回線が複数あり、非プライマリ回線のコールをピックアップしたい場合は、（回線表示）ボタンを押してから [オプション] を選択し、[コールピックアップ] ソフトキーを選択します。
- 電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関するオーディオまたはビジュアルアラートを受信することがあります。
- 電話機の BLF ピックアップ機能を使用する場合は、[回線の状態 \(BLF\)](#)、[\(71 ページ\)](#) を参照してください。

## コール ピックアップグループのコールのピックアップ

### 手順

- 
- ステップ 1** [オプション] > [ピック] を選択します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** 電話機でコールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

## コール ピックアップ グループ以外のコールのピックアップ

### 手順

- 
- ステップ1 [オプション]>[G ピック] を選択します。
  - ステップ2 グループ ピックアップ 番号を入力します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
  - ステップ3 コールが鳴ったら、応答ボタンを押してコールに接続します。
- 

## グループまたは関連グループのコールのピックアップ

### 手順

- 
- ステップ1 [オプション]>[他 Grp] を選択します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
  - ステップ2 コールが鳴ったら、応答ボタンを押してコールに接続します。
- 

## 特定の内線（回線番号）で鳴っているコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ1 [オプション]>[G ピック] を選択します。
  - ステップ2 ピックアップするコールがある回線の番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で呼び出し中の場合は、12345 を入力します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
  - ステップ3 コールが鳴ったら、応答ボタンを押してコールに接続します。
-

## コールパーク

この電話機は、コールをパークして保存することができます。これにより、Cisco Unified Communications Manager システム内の別の電話機から自分自身または別の誰かが（たとえば、同僚のデスクまたは会議室の電話機などから）コールを取得することができます。コールをパークするには、次の方法があります。

### コールパーク

[パーク] ソフトキーでコールを保存します。電話機にはコールを特定できるよう、コールパーク番号が表示されます。コールを取得するには、この番号を記録して同じ番号を使用する必要があります。

### ダイレクトコールパーク


[転送] ソフトキーを使用して、ダイヤル先またはスピードダイヤル先の利用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得用プレフィックスをダイヤルするか、または同じダイレクトコールパーク番号をスピードダイヤルします。スピードダイヤルはダイレクトコールパーク番号として使用でき、ダイレクトコールパーク番号が使用中または利用可能かをモニタリングできます。利用可能なダイレクトコールパーク番号については、システム管理者にお問い合わせください。

### ヒント

パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。時間の長さについては、システム管理者にお問い合わせください。

## アクティブコールの保存および取得（コールパークを使用）



### 手順

- 
- ステップ 1 コール中に [オプション]>[パーク] を選択します。
  - ステップ 2 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号を確認します。
  - ステップ 3  を押します。
  - ステップ 4 ネットワーク内の Cisco Unified IP Phone からコールパーク番号を入力してコールに接続します。
-



## ダイレクトコールパーク番号でのアクティブコールの直接転送、保存、取得

### 手順

- 
- ステップ1** コール中に [転送] を押します。
- ステップ2** パーク未使用アイコン  の付いているスピードダイヤル番号を選択して、スピードダイヤルでダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。
- パーク使用中アイコン  の付いているスピードダイヤルは、そのダイレクトコールパーク番号が使用できないことを示します。
- (注) BLFがスピードダイヤル番号用に設定されていない場合、ダイレクトコールパーク番号が使用できるかどうかはアイコンに表示されません。
- ステップ3** [転送] をもう一度押して、コールの保存を終了します。
- ステップ4** ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone で、パーク取得用プレフィックスを入力して、そのダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。
- 

## ハントグループ

大量の着信コールを受ける組織の場合、ハントグループが役立ちます。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連のディレクトリ番号が含まれます。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。電話機から離れるときは、ハントグループからログアウトすることで、ハントグループコールによる呼出音を防ぐことができます。電話機に戻ったら、ハントグループにログインする必要があります。

### ヒント

ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。

## ハントグループのログインとログアウト

### 手順

- 
- ステップ1** ログインするには、[オプション]>[ハント] を選択します。
- ステップ2** ログアウトするには、もう一度 [オプション]>[ハント] を選択します。
- 電話機の画面に「ハントグループからログアウト」というメッセージが表示されます。

## 共有回線

次の場合、システム管理者から共有回線を使用するよう言われる可能性があります。

- 電話機が複数台あり、電話番号は1つにする
- 同僚とコール処理タスクを共有している
- マネージャーの代理でコールを処理している



(注) 電話機は、共有回線上で最大 24 コールをサポートできます。

## リモートで使用中のメッセージ

使用中の回線を共有する別の電話機にコール接続があり、プライバシーが無効になっている場合、「リモートで使用中」メッセージと📞アイコンが電話機に表示されます。「リモートで使用中」メッセージまたは📞アイコンが表示されているときも、通常どおりに共有回線上でコールの発信および着信ができます。

## コール情報および割り込み

回線を共有する電話機は、それぞれ共有回線上で発信および着信されるコールの情報を表示します。この情報には、発信者 ID と通話時間が含まれる場合があります。

このような形式でコール情報を確認できる場合、回線を共有する同士で [割り込み] または [C 割込] のいずれかを使って自分自身をコールに追加できます。

### 割り込み

内蔵ブリッジ機能を搭載する IP Phone で共有回線のコールに参加できます。

### C 割込

どの IP Phone でも共有回線のコールに参加でき、コールを会議に変換できます。

### 関連トピック

[プライバシー](#), (69 ページ)

[割込みおよび共有回線コール](#), (69 ページ)

## プライバシー

Cisco Unified Wireless IP Phone は、初期設定でプライバシーが有効になっています。プライバシーが有効の場合、回線を共有する他のユーザからは自分のコール情報が見えなくなります。回線を共有するユーザに情報を見せたい場合は、電話機に設定されたプライバシー機能を無効にする必要があります。[プライバシーおよび共有回線コール](#)、(70 ページ) を参照してください。

## 割込みおよび共有回線コール

割込み機能 (C 割込または割込み) を使用して、共有回線上のコールに自分自身を追加することができます。ただし、プライベート以外のコールでなければなりません。

電話機の設定に応じて、[割込み] または [C 割込] のどちらかを使用して、共有回線上のプライベート以外のコールに自分自身を追加することができます。

- [C 割込] ではコールが通常の会議に変換されるため、新しい参加者を追加することができません。
- [割込み] は自分自身をコールに追加できますが、コールは会議に変換されないため、新しい参加者は追加できません。

### ヒント


- コールに割り込むと、割り込んだことを知らせる通知音が他の通話相手に流れます。C 割込では、他の通話相手の音声が一瞬中断されて、電話機のスクリーンに会議の詳細が表示されます。
- 共有回線を使用している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、コールの情報と割込みのソフトキーは、その回線を共有している他の電話機に表示されません。
- [割込み] を使用して参加したコールが保留、転送、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールの接続は切断されます。

### 関連トピック

- [共有回線](#)、(68 ページ)
- [会議コール](#)、(53 ページ)

## 共有回線ステータスの表示

### 手順

1.  アイコンと [リモートで使用中] メッセージを確認します。

## 共有回線のコールへの参加

### 手順

- 
- ステップ 1** リモートで使用中のコールを強調表示します。状況により、[回線表示]を使用する必要があります。
- ステップ 2** [オプション]>[割込み]または[C 割込]を選択します。  
詳細については、[会議参加者リスト](#)、(57 ページ)を参照してください。
- 

## 割込みコールの終了

### 手順

[終了]またはを選択します。

[割込み]を使用した後で切断すると、他の参加者に切断トーンが聞こえますが、元のコールは続行します。

[C 割込]を使用した後で切断すると、コールは会議コールに残ります（少なくとも3人の参加者が回線に接続している場合）。

## プライバシーおよび共有回線コール


電話回線を共有する場合は、プライバシー機能を使用することで、回線を共有する他の人が自分のコールを表示または割り込みしないよう防止することができます。

### ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。そのため、複数の共有回線を利用し、プライバシーが有効になっている場合、他のユーザは共有回線上のコールを表示または割り込みすることはできません。


## 他のユーザによる共有回線のコールの表示または割込みの防止

### 手順

- 
- ステップ 1** [オプション]>[非通知] を選択します。
- ステップ 2** プライバシー機能がオンであることは、電話番号の横の  (プライバシー機能が有効アイコン) で確認できます。
- 

## 他のユーザによる共有回線のコールの表示または割り込みの許可

### 手順

- 
- ステップ 1** [オプション]>[非通知] を選択します。
- ステップ 2** プライバシー機能がオフであることは、電話番号の横の  (非通知無効アイコン) で確認できます。
- 

## 回線の状態 (BLF)






ビジールンプフィールド (BLF) では、スピードダイヤル、通話履歴、または電話機のディレクトリリストと関連した電話回線の状態を確認できます。BLF ピックアップを使用すると、モニタリングしている回線で着信コールに応答することができます。電話機に設定する BLF 機能は、システム管理者が決定します。

### ヒント

- モニタリングしている回線で着信コールがある場合、電話機で音声インジケータを再生し、通知することができます (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、呼び出し時間が一番長いコールから応答します (モニタリングしている回線で 1 つ以上の着信コールがある場合)。

## 回線状態のアイコン

回線状態のアイコンは、通話履歴、ディレクトリ、およびスピードダイヤル回線に表示されます。次の表では、回線番号の横に表示される回線状態インジケータについて説明します。

アイコン	説明
	回線は使用中です。
	回線はアイドル状態です。
	回線はサイレント状態です。
	回線は呼び出し中です
	この回線では、回線ステータスインジケータを使用できません。

## BLF ピックアップを使用した同僚の電話機のコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** 呼び出し中の回線を強調表示して、● (選択ボタン) を押します。コールは、お使いの電話機に転送されます。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに自動的に接続されます。
- ステップ 2** お使いの電話機でコールの呼出音が鳴ったら、コールに応答します。  
 (注) 監視対象回線で呼出音が鳴っていないときに [オプション]>[ピック] または [G ピック] を選択すると、電話機がスピードダイヤルを使用して、その回線番号にダイヤルします。
- 

## セキュアなコール

システム管理者による電話システムの設定によっては、電話機からセキュアなコールを発信および着信することができます。

この電話機では、次のコールのタイプをサポートできます。

### 認証済みコール

コールに参加するすべての電話機の ID は確認されています。

### 暗号化済みコール

電話機はシスコ IP ネットワーク内で暗号化された音声 (通話) を受信および転送します。暗号化済みコールは、認証済みでもあります。

### 保護済みコール

電話機は別の電話機と暗号化された音声（通話）を受信および転送します。保護済みコールでは、暗号化済みコールと同等のセキュリティを提供し、さらにセキュリティ機能が追加されています。両側でコールが保護されている場合、通話の冒頭でセキュリティトーンが流れます。会議コール、共有回線、エクステンションモビリティ、回線上の参加など、いくつかの機能は保護済みコールが設定されている場合に利用できません。保護済みコールは、認証済みではありません。

### 非セキュアなコール

少なくとも1台の参加中の電話機または接続が、これらセキュリティ機能をサポートしていないか、または電話機が確認できません。



(注) 電話機のセキュリティ機能の動作には、相互作用、制限、限界があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

社内でセキュアなコールができるかどうかは、システム管理者にお問い合わせください。

## セキュリティアイコン

次の表では、セキュリティアイコンについて説明します。これらのアイコンは、コールアクティビティ領域の右上、通話時間を示すタイマーの横に表示されます。

アイコン	説明
	認証済みコールまたは会議
	暗号化済みコールまたは会議
アイコンなし	非セキュアなコール

電話機でコールの暗号化が設定されている場合、ロックアイコンが表示されます。ただし、会話が保護されるのは、コールの最初にセキュリティトーンが再生された場合に限られます。このトーンは、コールの両側でコールが保護されていることを表します。コールが保護されていない電話機に接続されると、セキュアトーンは再生されません。

## 不審なコールのトレース

不審なコールまたは迷惑なコールを受信する場合、電話機に迷惑呼（MCID）を追加するようシステム管理者に問い合わせてください。この機能は、アクティブなコールで不審なものを特定し、一連の自動化されたトラッキングおよび通知メッセージの表示を開始します。

## 不審なコールや嫌がらせのコールをシステム管理者に通知

### 手順

嫌がらせのコールの疑いがある場合は、[オプション]>[迷惑呼]を選択します。電話機からトーンが聞こえ、「迷惑呼IDの処理完了」というメッセージが表示されます。システム管理者が、このコールに関する情報を受け取ります。





## プライオリティ（優先）コール

軍隊や行政機関のオフィスなどの特別な環境では、緊急のコールや重要なコールの発信および受信が必要になることがあります。このような特別なコールの処理が必要な場合は、システム管理者が電話機に **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** を追加することができます。

次の用語を覚えておいてください。

- **Precedence** とは、コールに関連付けられた優先度を示します。
- **Preemption** とは、優先度の低い既存のコールを終了させて、電話機に送信された優先度の高いコールを受け付ける処理です。

次の表では、プライオリティコールに表示されるアイコンについて説明します。優先度の順番（高から低へ）に従ってリストに表示されます。

アイコン	説明
アイコンなし	通常（標準）のコール
	プライオリティ（優先）コール
	中程度の優先度の（即時）コール
	高い優先度の（フラッシュ）コール
	最も高い優先度の（フラッシュ オーバーライドまたはエグゼクティブ オーバーライド）コール

プライオリティコールのために **MLPP** コードを取得するには、システム管理者にお問い合わせください。プライオリティコールを発信するには、これらのコードが必要です。

通常より速い特殊な呼出音、または特殊なコール待機音が聞こえる場合は、そのコールはプライオリティ（優先）コールです。電話スクリーンに表示される **MLPP** アイコンは、コールの優先度レベルを示します。



アクティブなコールの最中に継続的にトーンが聞こえる場合は、現在のコールよりも優先する必要があるコールが着信しています。優先度の高いコールを受信するために、ただちに電話を切ってください。

#### ヒント

- MLPP を使用したコールを発信または受信した場合は、通常のトーンとは異なる、特殊な呼出音およびコール待機音が聞こえます。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声案内によってエラーが警告されます。
- 次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。
  - コールの保留
  - コールの転送
  - 3 者会議へのコールの追加
  - ピックアップを使用したコールの応答
- サイレント機能が設定されている場合でも、MLPP が優先されます。

## プライオリティ（優先）コールの開始

#### 手順

MLPP アクセス番号（システム管理者が提供）を入力し、続けて電話番号を入力します。

## 優先度の高いプライオリティ コールへの応答

#### 手順

通常の方法でコールに応答します。必要な場合は、アクティブなコールを先に終了します。





## 第 4 章

# 通話履歴とディレクトリ

このセクションでは、[ディレクトリ]メニューの通話履歴とディレクトリの使い方を説明します。

- [通話履歴, 77 ページ](#)
- [ディレクトリ, 80 ページ](#)
- [社内電話帳, 86 ページ](#)

## 通話履歴

電話機は、不在履歴、発信、着信履歴の記録（ログ）を維持します。

### ヒント

- 電話機で国際通話履歴が設定されている場合は、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリのエントリにプラス (+) 記号が付いています。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- マルチパーティ コールのコール レコードすべてを表示するには（たとえば、自分宛てに転送されたコールなど）、コールレコードを強調表示して[詳細]を選択します。詳細レコードには、マルチパーティの不在履歴または着信履歴のエントリがそれぞれ表示されます。エントリは、新しい順にリストされます。
  - 最初に記録されるエントリは、電話機に着信したマルチパーティコールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
  - 2つめに記録されるエントリは、電話機に着信したマルチパーティコールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。
- ログのそれぞれのエントリには、現在の回線ステータスが表示されます。

## 関連トピック

[回線の状態 \(BLF\) , \(71 ページ\)](#)

## 通話履歴の表示

## 手順

## ステップ 1



を押します。

## ステップ 2

[不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。  
各通話履歴は最大 100 件まで保存されます。

## 通話履歴からのダイヤル

## 手順

## ステップ 1



を押します。

## ステップ 2

[不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。

## ステップ 3

電話番号までスクロールします。


## ステップ 4

表示される番号を編集（プレフィックスを追加または削除）するには、[オプション]>[編集] を押してから、◀または▶を押して、カーソルの位置を変更します。

## ステップ 5


キーボードを使用して数字を入力するか、<<を押して数字を削除します。

## ステップ 6

[ダイヤル] または  を押します。


## 1つのコールレコードの詳細を表示

### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。
- ステップ3** コールレコードを強調表示します。
- ステップ4** [詳細] を押して、（発信通話と着信通話の）着信番号、発信番号、時刻、通話時間などの情報を表示します。
- 


## 1つのコールレコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。
- ステップ3** コールレコードまでスクロールします。
- ステップ4** [オプション] > [削除] を選択するか、[オプション] > [終了] を選択します。
- 

## 1つのログ内のすべてのコールレコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。
- ステップ3** [オプション] > [削除] を選択するか、[オプション] > [終了] を選択します。
-

## すべての通話履歴内のすべてのコールレコードの削除

### 手順

#### ステップ 1



を押して、通話履歴を表示します。

#### ステップ 2

[クリア]を押して通話履歴を削除するか、[オプション]>[終了]を選択します。

## ディレクトリ

設定によっては、電話機から社内ディレクトリやパーソナルディレクトリにアクセスできます。

### 社内ディレクトリ

電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者が行います。

### パーソナルディレクトリ

使用可能な場合、電話機とユーザ オプション Web ページから設定、アクセスできるパーソナルディレクトリおよび関連するスピードダイヤルコードが含まれます。パーソナルディレクトリは、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルで構成されます。

- PAB は、個人の連絡先のディレクトリです。
- ファストダイヤルでは、すぐにダイヤルできるように PAB エントリにコードを割り当てることができます。

## 社内ディレクトリ

社内ディレクトリを使用して同僚にコールを発信できます。

### ヒント

- キーパッドの番号を使用して電話スクリーンに文字を入力できます。
- 電話機のナビゲーション ボタンで入力フィールド間を移動できます。
- 社内ディレクトリ レコードをローカルの電話帳にコピーできます。
- ディレクトリのそれぞれのエントリには、現在のステータスが表示されます。

### 関連トピック

- テキストの入力, (26 ページ)
- 社内電話帳, (86 ページ)
- 回線の状態 (BLF), (71 ページ)

## 社内ディレクトリからのダイヤル (コール中でないとき)

### 手順

#### ステップ 1



> [ディレクトリ サービス] > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。

#### ステップ 2

キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力します。

#### ステップ 3

● または [検索] を押します。

#### ステップ 4


リストまでスクロールします。

#### ステップ 5

表示される番号を編集する (プレフィックスを追加または削除する) には、次の手順を実行します。

- [オプション] > [編集] を選択してから、◀ または ▶ を押して、カーソルの位置を変更します。
- キーパッドを使用して数字を入力するか、<< を押して数字を削除します。

#### ステップ 6

[ダイヤル] または  を押します。

## パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルが含まれます。

### Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降によるパーソナルディレクトリの設定

Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のシステムに接続している場合のパーソナルディレクトリの設定および使用方法については、次の URL で *Web* での *Cisco IP Phone* のカスタマイズ方法を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

## Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0 以降によるパーソナルディレクトリの設定

このセクションでは、電話機が Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0 以降に接続している場合のパーソナルディレクトリの設定および使用方法について説明します。また、[Webでのパーソナルディレクトリ](#)、(141 ページ) も参照してください。

### ヒント

- パーソナルディレクトリにログインするためのユーザ ID と PIN は、システム管理者が提供します。
- パーソナルディレクトリでは、一定時間が経過したユーザを自動でログアウトさせます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して電話スクリーンに文字を入力できます。電話機のナビゲーションボタンで入力フィールド間を移動できます。
- 電話機で国際通話履歴が設定されている場合は、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリのエントリにプラス (+) 記号が付いています。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### パーソナルディレクトリ (PAB およびファストダイヤルコード用) へのアクセス

#### 手順

#### ステップ 1



> [ディレクトリ サービス] > [個人アドレス帳 (PAB) サービス] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。

#### ステップ 2

Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力して、[オプション] > [送信] を押します。

### PAB エントリの検索

#### 手順

ステップ 1 [個人アドレス帳] にアクセスします。

ステップ 2 検索条件を入力して、[オプション] > [送信] を選択します。

(注) PAB エントリの完全なリストを取得するには、検索条件を入力せずに [オプション] > [送信] を選択します。



- ステップ3** [オプション]>[前へ]または[オプション]>[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。
- ステップ4** 目的のPABリストまでスクロールして、[選択]または●を押します。
- 

## PAB エントリからのダイヤル

### 手順

---

- ステップ1** PAB エントリを検索します。
- ステップ2** リストまでスクロールして、[選択]または●を押します。
- ステップ3** [ダイヤル]を押します。
- ステップ4** ダイヤルする番号までスクロールして、[OK]を押します。
- ステップ5** [OK]をもう一度押して、その番号にダイヤルします。
- 

## PAB エントリの削除

### 手順

---

- ステップ1** PAB エントリを検索します。
- ステップ2** リストまでスクロールして、[選択]または●を押します。
- ステップ3** [オプション]>[削除]を選択します。
- ステップ4** [OK]を押して削除を確認するか、[キャンセル]を押します。
- 

## PAB エントリの編集

### 手順

---

- ステップ1** PAB エントリを検索します。
- ステップ2** リストまでスクロールして、[選択]または●を押します。
- ステップ3** [オプション]>[編集]を選択して、名前またはメールアドレスを変更します。
- ステップ4** 必要に応じて、[オプション]>[電話]を選択して、電話番号を変更します。
- ステップ5** [更新]を押します。
-

## 新規 PAB エントリの追加

### 手順

---

- ステップ1 [個人アドレス帳] にアクセスします。
  - ステップ2 検索ページにアクセスして、[オプション]>[送信] を選択します。最初に検索情報を入力する必要はありません。
  - ステップ3 [オプション]>[新規] を選択します。
  - ステップ4 キーパッドを使用して、名前またはニックネームを入力します。
  - ステップ5 [電話] を押して、キーパッドで電話番号を入力します。9 や 1 など、必要なアクセスコードを必ず含めてください。
  - ステップ6 [送信] を押して、エントリをデータベースに追加します。
- 

## PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

---

- ステップ1 PAB エントリを検索します。
  - ステップ2 リストまでスクロールして、[選択] または ● を押します。
  - ステップ3 [オプション]>[ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ4 番号に割り当てるファストダイヤルコードまでスクロールして、[選択] または ● を押します。
-

## 新しいファストダイヤルコードの追加（PAB エントリを使用しない）

### 手順

#### ステップ 1




> [個人アドレス帳] を選択します。

#### ステップ 2

[個人ファストダイヤル] を選択します。

#### ステップ 3

割り当てられていないファストダイヤルコードまでスクロールして、[選択] または  を押します。

#### ステップ 4

[割り当て] を押します。

#### ステップ 5

電話番号を入力します。

#### ステップ 6

[更新] を押します。

## ファストダイヤルコードの検索

### 手順

#### ステップ 1




> [個人ファストダイヤル] を選択します。

#### ステップ 2

[オプション]> [前へ] または [オプション]> [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。

#### ステップ 3

目的のリストまでスクロールして、[選択] または  を押します。

## ファストダイヤルコードでのコールの発信

### 手順

#### ステップ 1

ファストダイヤルコードを検索します。

#### ステップ 2

目的のリストまでスクロールして、[選択] または  を押します。

#### ステップ 3


[ダイヤル] を押します。

#### ステップ 4

[OK] を選択して操作を完了します。


## ファストダイヤルコードの削除

### 手順

- 
- ステップ 1** ファストダイヤルコードを検索します。
- ステップ 2** 目的のリストまでスクロールして、[選択] または  を押します。
- ステップ 3** [オプション] > [削除] を選択します。
- 

## パーソナルディレクトリからのログアウト

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [個人アドレス帳] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 2** [ログアウト] を選択します。
- 

# 社内電話帳

電話機の電話帳には、連絡先情報（勤務先電話番号や携帯電話番号、会社名など）を 100 件まで保存できます。




- (注) 左のソフトキーをカスタマイズして、電話帳を開くようにすることができます。この方法でカスタマイズすると、左のソフトキーは[電話帳]として表示されます。詳細については、[カスタムの電話スクリーン](#)、(105 ページ) を参照してください。
- 



- (注) Microsoft Outlook や Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 などにある連絡先が XML または CSV 形式のファイルで保存されている場合、システム管理者は 100 件までの連絡先を電話帳にインポートすることができます。詳細については、システム管理者までお問い合わせください。
- 

### ヒント

- 連絡先番号にスピードダイヤルを割り当てると、 スピードダイヤルアイコンと番号が連絡先詳細の電話番号の下に表示されます。

- 電話帳には 100 件まで連絡先を保存できますが、スピードダイヤルに割り当てられるのは 99 件のみです。これは、スピードダイヤル1がボイスメール用に予約されているからです。
- 連絡先情報が別の場所（たとえば、Microsoft Outlook や Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 など）に保存されている場合は、ファイルを電話帳にインポートできるかどうか、システム管理者にお問い合わせください。

## 電話帳への連絡先の追加

### 手順

#### ステップ 1



> [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。

#### ステップ 2

次の操作のいずれかを実行します。

- [新規] を押します（電話帳が空の場合）。
- [オプション] > [新規] を選択します（電話帳が空ではない場合）。

#### ステップ 3

[新規連絡先] 画面で、連絡先の情報を入力します。

#### ステップ 4

入力が終了したら [オプション] を押します。次に [保存] を選択して情報を保存するか、[キャンセル] を押します。

## 連絡先のプライマリ番号の割り当て

### 手順

#### ステップ 1



> [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。

#### ステップ 2

連絡先の名前を強調表示して、[オプション] > [詳細] を選択します。

#### ステップ 3

番号を選択します。

- 勤務先電話
- 自宅電話
- 携帯電話
- 他の電話

#### ステップ 4

[オプション] > [プライマリ] を選択します。

(チェックマーク) がこの番号の横に表示されます。

(注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先の電話です。プライマリ番号として、任意の番号を割り当てることができます。

**ステップ 5** 入力が終了したら[オプション]を押します。次に[保存]を選択して情報を保存するか、[キャンセル]を押します。

## 連絡先の名前または会社情報の変更

### 手順

**ステップ 1**



> [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。

**ステップ 2**

連絡先名を強調表示し、● を押して詳細を表示します。  
また [オプション] > [詳細] を選択できます。

**ステップ 3**

情報フィールドを選択して [変更] を押します。

**ステップ 4**

変更内容を入力します。入力が終了したら [オプション] を押します。次に [保存] を選択して情報を保存するか、[キャンセル] を押します。

## 連絡先の電話番号の変更

### 手順

**ステップ 1**



> [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。

**ステップ 2**

連絡先名を強調表示し、● を押して詳細を表示します。  
また [オプション] > [詳細] を選択できます。

**ステップ 3**

番号を選択します。


- 勤務先電話
- 自宅電話
- 携帯電話
- 他の電話

- ステップ4 [オプション]>[変更] を選択します。
  - ステップ5 変更内容を入力します。
  - ステップ6 入力終了したら[オプション]を押します。次に[保存]を選択して情報を保存するか、[キャンセル]を押します。
- 

## 電話帳の連絡先の検索

### 手順


---

- ステップ1  >[電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。
  - ステップ2 [オプション]>[モード]を選択して、検索テキストを入力します。名、姓、ニックネーム、会社名を検索できます。  
検索テキストは、目的の文字または数字が表示されるまでキーを1度以上押すか、1つ以上のキーを押して一致候補を自動的に表示させる（入力予測）方法で入力できます。
  - ステップ3 検索テキストの入力方法を変更するには、[オプション]>[モード]をもう一度押します。
- 

## 電話帳からの連絡先の削除

### 手順

---

- ステップ1  >[電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。
  - ステップ2 連絡先の名前を強調表示して、[オプション]>[削除]を選択します。  
連絡先が削除され、この連絡先番号のスピードダイヤルの割り当てが解除されます。
-

## 連絡先のプライマリ電話番号をダイヤル


### 手順

#### ステップ 1



> [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。

#### ステップ 2

連絡先の名前を強調表示します。この連絡先のプライマリ電話番号が左下に表示されます。この番号にダイヤルするには、 を押すか、[オプション]>[ダイヤル]を押します。連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先の電話です。この連絡先のプライマリ番号を任意の番号に変更できます。

## 連絡先の電話番号をダイヤル

### 手順

#### ステップ 1




> [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。

#### ステップ 2

連絡先の名前を強調表示してから、次の操作を実行します。

- ダイヤルする電話番号のアイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。

-  勤務先電話
-  自宅電話
-  携帯電話
-  他の電話

- [オプション]>[詳細]を選択し、電話番号を強調表示して、 を押すか、または[オプション]>[ダイヤル]を押します。



## 電話帳での全エントリのクリア

### 手順

#### ステップ1



> [電話帳] を選択するか、[電話帳]（使用可能な場合）を押します。

#### ステップ2

[オプション] を押して、[すべて削除] を選択します。

## 通話履歴から電話帳の新しい連絡先に電話番号をコピー

### 手順

#### ステップ1



を選択します。

#### ステップ2

次の項目のいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴

#### ステップ3

電話番号までスクロールして、[オプション]>[保存]>[新規連絡先] を選択します。[連絡先の保存] 画面が表示されます。

#### ステップ4

名、姓、ニックネーム、会社の情報を入力します。

#### ステップ5

完了したら、[オプション]>[保存] を選択して、番号を保存する電話機の種類を選択します。

## 通話履歴から電話帳の既存の連絡先に電話番号をコピー

### 手順

#### ステップ1



を選択します。

#### ステップ2

次の項目のいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴

**ステップ3** 電話番号までスクロールして、[オプション]>[保存]>[既存連絡先への保存]を選択します。

**ステップ4** 電話帳の連絡先リストで、特定の名前を強調表示します。

**ステップ5** 番号を保存する電話機の種類を選択します。

## ディレクトリから電話帳の新しい連絡先に電話番号をコピー

### 手順

#### ステップ1



> [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。

#### ステップ2

キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力し、[検索] を押します。

#### ステップ3

リストが表示されたら、[オプション]>[保存]>[新規連絡先]を選択します。[連絡先の保存] 画面が表示されます。

#### ステップ4

名、姓、ニックネーム、会社の情報を入力します。

#### ステップ5

完了したら、[オプション]>[保存]を選択して、番号を保存する電話機の種類を選択します。

## ディレクトリから電話帳の既存の連絡先に電話番号をコピー

### 手順

#### ステップ1



> [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。

#### ステップ2

キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力し、[検索] を押します。

#### ステップ3

リストが表示されたら、[オプション]>[保存]>[既存連絡先への保存]を選択します。

#### ステップ4

電話帳の連絡先リストで、特定の名前を強調表示します。

#### ステップ5

番号を保存する電話機の種類を選択します。

## 電話帳にある連絡先番号へのスピードダイヤルの割り当て（[スピードダイヤル]画面から）

スピードダイヤル1は常にボイスメールに割り当てられます。このスピードダイヤルの削除または再割り当ては実行できません。

### 手順

#### ステップ1



>[スピードダイヤル]を選択します。

#### ステップ2

まだ割り当てられていないスピードダイヤルを強調表示して、[割り当て]を押します。電話帳の連絡先リストが表示されます。

#### ステップ3

名前を強調表示します。プライマリ番号を選択するか、左右にスクロールして別の番号を選択してから、[選択]を押します。選択された番号は、スピードダイヤルに割り当てられます。詳細については、[高度なコールオプション](#)、(35 ページ) を参照してください。

## 電話帳にある連絡先番号へのスピードダイヤルの割り当て（メイン画面から）

### 手順

#### ステップ1

まだ割り当てがないスピードダイヤル番号を約2秒間押し続けて、[はい]を押します。電話帳のメイン画面が表示されます。

#### ステップ2

連絡先を強調表示して[選択]を押し、スピードダイヤルをプライマリ番号に割り当てます。

## スピードダイヤルの割り当て解除

### 手順

---

#### ステップ 1



> [スピードダイヤル] を選択します。

#### ステップ 2

割り当て済みのスピードダイヤルを強調表示して [削除] を押します。

#### ステップ 3

[はい] を押して確認するか、[いいえ] を押してキャンセルします。

---



## 第 5 章

# ボイス メッセージ


Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G を使用してボイスメール サービスにアクセスできます。



(注)

電話システムで使用するボイスメール サービスは、会社で決定するものです。より正確かつ詳細な情報については、ボイスメール サービスに付属するマニュアルを参照してください。

ボイスメッセージがある場合、次のように通知されます。



- 赤い光の点滅
- 「ボイスメールを受信しました」というメッセージ
- メッセージ受信  アイコンが回線表示のディレクトリ番号の横で点滅します。

この章の構成は、次のとおりです。

- [ボイスメール サービスの設定および個人設定, 95 ページ](#)
- [ボイスメールの受信またはボイスメールのシステム メニューへのアクセス, 96 ページ](#)
- [ボイスメール システムへのコールの送信, 96 ページ](#)

## ボイスメール サービスの設定および個人設定

### 手順

- ステップ 1** [メッセージ] を押すか、  を押し続けます。
- ステップ 2** 声の指示に従います。


メイン画面の左のソフトキーを電話帳（[電話帳]）にアクセスするように変更した場合、[メッセージ] ソフトキーは使用できません。詳細については、[カスタムの電話スクリーン](#)、（105 ページ）を参照してください。

---

## ボイスメールの受信またはボイスメールのシステムメニューへのアクセス

### 手順

---

- ステップ 1** [メッセージ] を押すか、 を押し続けます。
- ステップ 2** ボイスメールのパスワードを入力します。
- ステップ 3** 指示に従ってメッセージを聞きます。  
メイン画面の左のソフトキーを電話帳（[電話帳]）にアクセスするように変更した場合、[メッセージ] ソフトキーは使用できません。詳細については、[カスタムの電話スクリーン](#)、（105 ページ）を参照してください。
- 

## ボイスメール システムへのコールの送信

即転送機能は、コール（呼出中および保留中のコールも含む）をボイスメールシステムに自動転送します。発信者にはボイスメールのメッセージが流れ、メッセージを残すことができます

### 手順

[即転送] を押します。



## 第 6 章

# アプリケーション

---

電話アプリケーションを使用すると、次のいずれかにアクセスできます。

- [Cisco エクステンション モビリティ](#), 97 ページ
- [アプリケーション ボタン](#), 98 ページ
- [バーコード スキャナ](#), 99 ページ

## Cisco エクステンション モビリティ


Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を自分用として設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。システム管理者が EM を設定している必要があります。

### ヒント

- EM では、一定時間が経過したユーザを自動でログアウトさせます。時間制限は、システム管理者が設定します。
- 自身の EM プロファイルを (ユーザ オプション Web ページから) 変更した場合は、次に電話機から EM へログインしたとき有効になります。
- 電話機でのみ制御される設定は、EM プロファイル内では維持されません。


## EM へのログイン

### 手順


- 
- ステップ1  > [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ2 ユーザ ID と PIN（システム管理者から取得）を入力します。
- ステップ3 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- 

## EM のログアウト

### 手順

- 
- ステップ1  > [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ2 ログアウトするようプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。
- 

## アプリケーション ボタン

アプリケーション ボタン （電話機の左側）を使用して、Push to Talk などのサービス アプリケーションを電話機で開始します。

アプリケーション ボタンは、システム管理者の設定方法に応じて、メイン画面からのみ使用できる場合、任意のメニューやサービスから使用できる場合、電話機がロックされていても使用できる場合があります。

また、アプリケーション ボタンを押してすぐにアプリケーションが開始されるように設定することも、数秒押し続けた後で開始されるように設定することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## Push to Talk サービス

Push to Talk サービスによって、組織内のメンバーと即時にコミュニケーションをとることができます（双方向ラジオに類似）。システム管理者が Push to Talk サービスを設定してから、ユーザがサービスに登録する必要があります。





(注) Push to Talk サービスの使い方の詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

Push to Talk へのアクセス手順は、システムによって異なります。

- Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降を利用するシステムの場合は、[電話サービスの登録](#)、(136 ページ) を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0 以降を利用するシステムの場合は、[Webでの電話サービスの設定](#)、(145 ページ) を参照してください。

## Push to Talk サービスの使用

### 手順

#### ステップ 1




> [Push to Talk] を選択します (名前は異なる場合があります)。



アイコンが表示されている場合は、Push to Talk サービスがアクティブになっています。

#### ステップ 2

サービスの設定に応じて、 ボタンを使用して転送を開始および終了します。

#### ステップ 3

[通話] および [停止] ソフトキーを使用して、転送とリスニングを切り替えます。

## バーコードスキャナ

システム管理者は、電話機の上部にあるスキャンモジュールによってバーコードをスキャンするように Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G を設定することができます。電話機は、Java MIDlet を使用して、バーコードのデータを読み取り、値段、場所、およびインベントリ情報などの情報を表示します。バーコードスキャナの使い方については、システム管理者にお問い合わせください。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G では、バーコードスキャナをサポートするために、ファームウェアバージョン 1.4 (1) 以降を実行する必要があります。





## 第 7 章

# 電話機のカスタマイズ


Cisco Unified Wireless IP Phone は、サウンド設定、ボリューム レベル、表示オプション、キーパッド設定でカスタマイズできます。また、[設定]メニューからネットワークプロファイルを表示できます。

- [カスタムの呼出音, 101 ページ](#)
- [カスタムの音量設定, 103 ページ](#)
- [カスタムの電話スクリーン, 105 ページ](#)
- [キーパッド設定, 108 ページ](#)
- [ネットワーク プロファイル リスト, 111 ページ](#)
- [ハードウェア診断, 112 ページ](#)
- [その他の設定オプション, 114 ページ](#)

## カスタムの呼出音


回線ごとに呼出音タイプを選択して電話機をカスタマイズできます。

### ヒント

- ユーザ オプション Web ページからは Cisco Unified Wireless IP Phone の [呼出音設定] を変更できません。
- [設定]メニューへ戻るには、変更を保存した後で[戻る]ボタンを押すか、 ボタンを押してメイン画面に戻ります。


## 回線の呼出音の設定の表示

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。
- ステップ2 [呼出音] > [現在の設定] を選択します。
- ステップ3 現在の回線設定を表示するには、[表示] を押します。
- 


## 回線の呼出音の変更

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。
- ステップ2 [呼出音] > [現在の設定] を選択します。
- ステップ3 現在の回線設定を表示するには、[表示] を押します。
- ステップ4 回線を選択するには、その項目の番号キー、● ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。
- ステップ5 リスト内の呼出音までスクロールし、[再生] を押して呼出音のサンプルを確認します。
- ステップ6 ● を押すと、選択した呼出音の横に ● アイコンが表示されます。
- ステップ7 [オプション] > [保存] を選択して変更を適用するか、[オプション] > [キャンセル] を選択します。
- 

## 回線への呼出音の割り当て

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。
- ステップ2 [呼出音] > [使用可能な呼出音] を選択します。
- ステップ3 リスト内の呼出音までスクロールし、[再生] を押して呼出音のサンプルを確認します。
- ステップ4 [オプション] > [適用] を選択し、呼出音を適用する回線を選択します。  
選択した回線の横に、☑ が表示されます。

ステップ5 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。

---

## 電話機の呼出方法の変更

### 手順

---

#### ステップ1



> [電話の設定] > [サウンド設定] > [アラート パターン] を選択します。

#### ステップ2

次の項目のいずれかを選択します。

- 呼出音のみ
- バイブレータのみ
- サイレント
- バイブレータの後に呼出音
- バイブレータと呼出音

選択した項目の横に  アイコンが表示されます。

#### ステップ3

[保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。

(注) この変更は、ハンドセットにのみ適用され、デスクトップ チャージャーには適用されません。


---

## カスタムの音量設定

電話機の呼出音とスピーカー音量の設定を調節できます。


## 呼出音音量レベルの調整

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。
- ステップ2 [呼出音] を選択します。
- ステップ3 呼出音を選択するには、その項目の番号キー、● ボタン、または[変更]ソフトキーを押します。
- ステップ4 ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げ、サンプルの呼出音で音量を確認します。
- ステップ5 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 


## スピーカの音量レベルの調整

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。
- ステップ2 [スピーカ] を選択します。
- ステップ3 ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げます。
- ステップ4 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 


## 電話機の音量レベルの調整

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。
- ステップ2 [ハンドセット] を選択します。
- ステップ3 ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げます。
- ステップ4 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
-

## ヘッドセットの音量レベルの調整



### 手順

- 
- ステップ1**  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。
- ステップ2** [ヘッドセット] を選択します。
- ステップ3** ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げます。
- ステップ4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 

## 呼出音の鳴るデバイスの選択

呼出音出力が適用されるのは有線ヘッドセットだけです。Bluetooth ヘッドセットには適用されません。

### 手順


- 
- ステップ1**  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。
- ステップ2** [呼出音出力] を選択します。
- ステップ3** 次のいずれかを選択します。
- ヘッドセット
  - スピーカ (デフォルトの設定)
  - スピーカとヘッドセット
- 選択した項目の横に  アイコンが表示されます。
- ステップ4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 

## カスタムの電話スクリーン

(電話機がアイドル状態のときに) 左のソフトキーから電話スクリーンの明るさや電話スクリーンの言語をカスタマイズできます。


## 左のソフトキーで電話帳を開くように設定

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [メニューのカスタマイズ] を選択します。
- ステップ2 [変更] を押します。
- ステップ3 [電話帳] を選択します。
- ステップ4 [保存] を押します。電話がアイドルのとき、左のソフトキーが [電話帳] として表示されます。
- 





## 左のソフトキーでメッセージにアクセスするように設定

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [メニューのカスタマイズ] を選択します。
- ステップ2 [変更] を押します。
- ステップ3 [メッセージ] を選択します。
- ステップ4 [保存] を押します。電話がアイドルのとき、左のソフトキーが [メッセージ] として表示されます。
- 

## 電話機のディスプレイの明るさの変更



### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。
- ステップ2 [画面の明るさ] を強調表示して、 または [変更] を押します。
- ステップ3  を押して明るくするか、 を押して暗くします。
- ステップ4 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
-





## スクリーンの表示時間の変更

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。
- ステップ 2** [バックライト オフ] を強調表示してから、 または [変更] を押します。
- ステップ 3** 次のいずれかを選択します。
- 10 秒
  - 30 秒 (デフォルトの設定)
  - 1 分
  - 2 分
- ステップ 4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。  
画面設定の時間を経過すると、スクリーンは 10 秒間うす暗い表示になり、その後で暗くなります。
- 

## 電波状態の LED 表示の変更

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。
- ステップ 2** [電波状態を LED で表示] を強調表示して、 または [変更] を押します。
- ステップ 3** 次のいずれかを選択します。
- 有効 (デフォルトの設定)
  - 無効
- ステップ 4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
-

## 電話スクリーンの言語の変更

### 手順



- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。  
ステップ2 言語の設定を変更します。
- 

### 関連トピック

[ユーザ オプション, \(135 ページ\)](#)

## フォント サイズの変更

### 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。  
ステップ2 [フォント サイズ] を強調表示して、 または [変更] を押します。  
ステップ3 次のいずれかを選択します。
  - デフォルト (デフォルトの設定)
  - 拡大  
ステップ4 [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 

## キーパッド設定

キーパッドでは、自動ロック、トーン作成、コール応答を設定できます。

### 関連トピック


[任意のキーによる応答, \(109 ページ\)](#)  
[キーパッドの自動ロック, \(109 ページ\)](#)  
[キー操作音量, \(111 ページ\)](#)

## 任意のキーによる応答

キーパッドのどのキーを押してもコールに応答できるように電話機を設定することができます。


### 任意のキーを押してコールに応答できる機能の設定

#### 手順

- 
- ステップ1**  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。
- ステップ2** [任意のキーによる応答] を選択します。
- ステップ3** [有効] を選択します。
- ステップ4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。  
[任意のキーによる応答] オプションの下に「有効」と表示されます。
- 

### [任意のキーによる応答] オプションの無効化

#### 手順

- 
- ステップ1**  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。
- ステップ2** [任意のキーによる応答] を選択します。
- ステップ3** [無効] を選択します。
- ステップ4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。  
[任意のキーによる応答] オプションの下に「無効」と表示されます。
- 

## キーパッドの自動ロック



誤ってキーを押したり、コールをリダイヤルしたりすることを避けるには、キーパッドの自動ロック機能を使用します。コール終了後に電話機のキーパッドを自動ロックするときは、事前にロック時間を設定できます。

#### ヒント

- 自動ロックは、電話機がアイドル状態でメイン画面が表示されている場合にのみ実行されません。
- キーパッドのロックは、着信コールがあると一時的に無効になります。

## 電話機使用後のキーパッドの自動ロック

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。
- ステップ 2** [キーパッドの自動ロック] を選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかの時間間隔を選択します。
- 15 秒
  - 30 秒
  - 60 秒
- ステップ 4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- 選択した時間間隔の経過後に、 アイコンが表示され、キーパッドがロックされます。
- 


## キーパッドのロック解除

### 手順

- 
- ステップ 1** 任意のキーを押すと「キーパッドをロック解除しますか?」というメッセージがスクリーンに表示されます。
- ステップ 2** [解除] を押して [OK] を押します。ソフトキーが表示されたらすぐに押してください。すぐに押さないとキーパッドのロックは解除されません。
- 

## キーパッドの自動ロックの解除

### 手順


- 
- ステップ 1**  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。
- ステップ 2** [キーパッドの自動ロック] を選択します。
- ステップ 3** [無効] を選択します。
- ステップ 4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。
- [キーパッドの自動ロック] オプションの下に「無効」と表示されます。

## キー操作音量

キーパッドのキーを押すときの音は、有効または無効にできます。

### キー操作音量レベルの変更

#### 手順

**ステップ 1**  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。

**ステップ 2** [キー操作音量] を選択します。

**ステップ 3** 次のいずれかを選択します。

#### 無効

キーを押しても、キー操作音は再生されません。

#### 標準

キーを押すと、キー操作音が再生されます。

#### 大きく

キーを押すと、キー操作音が大きく再生されます。

選択した項目の横に  アイコンが表示されます。

**ステップ 4** [保存] を押して変更を適用するか、[キャンセル] を押します。

## ネットワーク プロファイル リスト


ネットワークプロファイルは、ワイヤレスネットワークへのアクセスと、システムでの認証と暗号化に関する事前設定を提供します。ネットワークプロファイルは、システム管理者が定義します。ネットワークプロファイルは、異なるサービスセット識別子 (SSID) または認証タイプを使用する場所でワイヤレスネットワーク構成にアクセスできるように、1つ以上用意されている場合があります。

電話機は4つまでネットワークプロファイルを保持できます。電話機はプロファイルを自動スキャンし、特定のワイヤレスネットワークと一致する SSID および設定を持つネットワークプロファイルを選択します。



(注) 追加のネットワーク プロファイルが必要な場合、またはプロファイルの設定変更が必要な場合は、システム管理者にご相談ください。

#### ヒント

- メニューの横に  ロック アイコンが表示されたら、詳細についてシステム管理者にお問い合わせください。
- ユーザ名およびパスワードの変更が必要な場合は、[ユーザ名とパスワードの設定](#)、(25 ページ) を参照して、システム管理者にご相談ください。

## 有効なネットワーク プロファイルのリストの表示

#### 手順



> [ネットワーク プロファイル] を選択します。

有効なプロファイルの横には  が示されています。

(注) ネットワークプロファイルはロックされているため、システム管理者がユーザに代わって変更を加える必要があります。

## ハードウェア診断

電話機では、さまざまな診断機能を実行できます。

#### 関連トピック

[キーパッド ボタンの機能の確認](#)、(112 ページ)

[オーディオ診断の実行](#)、(113 ページ)


[WLAN 診断の実行](#)、(113 ページ)

[スキャナの診断の実行](#)、(113 ページ)

## キーパッド ボタンの機能の確認

キーパッドのボタンが電話機で機能していることを確認できます。


## 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [診断] を選択します。
- ステップ2 [キーパッド] を選択します。
- ステップ3 任意のキーを押します。キーが機能している場合、「押されました」と表示されます。
- 

## オーディオ診断の実行

電話機のスピーカとマイクロフォンが機能していることを確認できます。


## 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [診断] を選択します。
- ステップ2 [オーディオ] を選択します。呼出音が鳴り、スピーカがアクティブになります。
- ステップ3 マイクロフォンに話しかけて、マイクロフォンとスピーカの両方が動作していることを確認します。
- 

## WLAN 診断の実行

[診断] メニューのサイト調査ユーティリティを使用して、アクセスポイントで適切なカバレッジが提供されていることを確認できます。サイト調査ユーティリティの使用方法については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G* アドミニストレーションガイド』を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ1  > [電話の設定] > [診断] を選択します。
- ステップ2 [WLAN] を選択します。
- 

## スキャナの診断の実行

バーコードスキャナが機能していることを確認できます。

## 手順

## ステップ 1



> [電話の設定] > [診断] を選択します。

## ステップ 2

[スキャナ] を選択します。

## ステップ 3

スキャナをバーコードの前に置いて、[スキャン] を押します。

## その他の設定オプション

システム管理者は、特定のソフトキーのテンプレートに加えて、必要に応じて特別なサービスや機能を使用するように電話機を設定できます。次の表に、設定オプションの概要を示します。これらのオプションについては、コールの需要や作業環境に応じて、システム管理者に相談してください。



(注) この表に示されているユーザガイドとその他のマニュアルは、次の URL で確認することができます。[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

現状	対応	詳細な情報
電話回線でさらに多くのコールを処理する必要がある	サポートするコール数を増やすように、回線の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
複数の電話回線が必要である	1 つ以上の追加の電話番号を設定するようにシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
呼出音が鳴っているとき、または電話機を使用しているときに、[即転送] など、別のソフトキーを表示する必要がある	新しいソフトキーテンプレートを設定して電話機に割り当てるように、システム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
Java MIDlet を使用する必要がある	電話機に Java ソフトウェアモジュールを設定するようにシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。



現状	対応	詳細な情報
スピードダイヤルの追加が必要である	現在使用可能なスピードダイヤル番号をすべて使用しているかどうかを確認します。  スピードダイヤル番号の追加が必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を行ってください。	<a href="#">ユーザオプション</a> , (135 ページ) を参照してください。
複数の電話で1つの電話番号を使用する必要がある	共有回線を使用します。共有回線では、デスクの電話機とワイヤレス IP 電話で1つの番号を使用できます。	<a href="#">共有回線</a> , (68 ページ) を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	次の機能の使用を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク。転送機能を使用しないで、コールの保存と取得を行います。</li> <li>• コールピックアップ。別の電話機で鳴っているコールに応答します。</li> <li>• 共有回線。同僚のコールを表示したり、コールに参加したりします。</li> <li>• Cisco エクステンションモビリティ。共有の電話機に自分の電話番号とユーザプロファイルを適用します。</li> </ul>	これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">不審なコールのトレース</a>, (73 ページ)</li> <li>• <a href="#">共有回線</a>, (68 ページ)</li> <li>• <a href="#">Cisco エクステンションモビリティ</a>, (97 ページ)</li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	<a href="#">自動応答</a> , (123 ページ) を参照してください。
電話機のスピードダイヤル、通話履歴、またはディレクトリリストと関連付けられた電話回線の状態を確認する	電話機のビジーランプフィールド (BLF) 機能を設定するように、管理者に依頼します。	<a href="#">回線の状態 (BLF)</a> , (71 ページ) を参照してください。
個人の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する必要がある	Cisco エクステンションモビリティサービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	<a href="#">Cisco エクステンションモビリティ</a> , (97 ページ) を参照してください。

現状	対応	詳細な情報
回線を共有するすべての電話機を対象として、コール情報の表示、または共有回線上のコールへの参加を許可または禁止する	これらの電話機に対してプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	<a href="#">プライバシーおよび共有回線コール</a> 、(70 ページ) を参照してください。



## 第 8 章

# ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン



このセクションでは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G でハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンを使用する方法について説明します。

- [ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの操作, 117 ページ](#)
- [ヘッドセット, 119 ページ](#)
- [Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット, 119 ページ](#)
- [自動応答, 123 ページ](#)

## ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの操作

電話機は、モバイルハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセット（有線またはBluetooth ワイヤレス）として使用できます。

### ヒント



- ヘッドセットまたは電話機をデスクトップチャージャーから抜くと、電話機はスピーカモードに復帰します。このモードは、自動応答またはインターコム コールなど、一般的な着信コール向けのスピーカフォン機能です。
- ヘッドセットとスピーカは、 ボタンや  ボタンを含む電話機のコントロールすべてを利用できます。



(注) アクティブなコール中に音量を変更した場合、新しい音量レベルは電話機をオフにした後も次のコールまで維持されます。



## ハンドセットの使用

### 手順

- 
- ステップ 1** ハンドセットでコールに応答する、またはコールを開始するには、 を押します。
- ステップ 2** 終了するには、 を押します。
- 

## 有線ヘッドセットの使用

### 手順

- 
- ステップ 1** ヘッドセット ポート カバー  を開けて、ヘッドセット コネクタをヘッドセット ポートに差し込みます。
-  アイコンが電話のステータス行に表示されます。
- ステップ 2** コールの発信や応答は通常どおりに行います。
- 自動応答を使用している場合は、例外事項について [自動応答](#)、[\(123 ページ\)](#) を参照してください。
- ヘッドセットのオーディオは、ヘッドセットが電話機に接続されるとアクティブになります。
- 

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用


### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機の Bluetooth 設定を有効にします。
- ステップ 2** Bluetooth デバイスのリストをスキャンします。
- ステップ 3** Bluetooth ヘッドセットを選択して電話機とペアリングします。
- 詳細については、[Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット](#)、[\(119 ページ\)](#) を参照してください。
-

## スピーカモードの使用


スピーカフォンは、コールを開始する前でもコール中でもアクティブにすることができます。スピーカモードは、切り換えてオフにしなければ、次のコールでもアクティブになります。（電話機の）スピーカフォンは、電話機がデスクトップチャージャーにつながれている場合や有線ヘッドセットに接続されている場合でもアクティブにできます。

### 手順

④ アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。

## コール中のスピーカとハンドセットの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** スピーカモードに切り替えるには、④ アイコンが表示されるまで  を押し続けます。
- ステップ2** スピーカモードからハンドセットモードに切り替えるには、④ を押し続けてハンドセットに戻します。
- 

## ヘッドセット

電話機は、2.5 mm、3 バンド、4 つのコネクタプラグの有線ヘッドセットジャックタイプをサポートします。ヘッドセットの購入については、[ヘッドセット情報](#)、(28 ページ) を参照してください。

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット

お使いの電話機は Bluetooth ワイヤレスヘッドセットの使用をサポートしています。スキャン、ペアリング、ペア解除などのタスクを実行する前に、電話機の Bluetooth の設定を有効にします。



(注) Bluetooth ヘッドセットと電話機をペアリングする前に、ヘッドセットのマニュアルの指示に従ってヘッドセットが正しく動作するように有効にしてください。

---

## ヒント

- 電話機に接続できる Bluetooth デバイスは一度に 1 つだけです。
- 接続を維持するには、Bluetooth デバイスが電話機から 10 m 以内にある必要があります。
- 電話機がオフになったり、Bluetooth が電話機で無効にされると、Bluetooth デバイスは接続解除されます。
- すでに電話機とペアリングされているデバイスを使用して別の Bluetooth デバイスに接続する場合は、最初にペア解除してから、もう一度電話機とペアリングする必要があります。
- Bluetooth ヘッドセットの接続が解除された場合（電話機の接続範囲外に出たり、電話機のバッテリーがなくなった場合）、範囲内に戻るか、バッテリーを再充電すると、ヘッドセットは自動的に再接続されます。再接続されない場合は、Bluetooth ヘッドセットを 1 度タップして接続を再確立することができます。
- Bluetooth ヘッドセットが省電力モードで電話機から接続解除された場合、接続を再確立するにはヘッドセットを 1 度タップして「ウェイクアップ」させる必要のある場合があります。

## 電話機の Bluetooth の有効化/無効化

### 手順

#### ステップ 1




> [電話の設定] > [Bluetooth] を選択します。

#### ステップ 2

[Bluetooth] を強調表示して、[選択] を押します。

#### ステップ 3

[有効] または [無効] を選択して、[保存] を押します。

有効になった場合、有効な Bluetooth のアイコン  が表示されます。無効になった場合、アイコンの表示が消えます。

(注) スキャン、ペアリング、ペア解除などのタスクを実行するには、電話機の Bluetooth が有効になっている必要があります。

## Bluetooth デバイスのスキャン

### 手順

#### ステップ 1



> [電話の設定] > [Bluetooth] > [デバイス リスト] を選択します。

#### ステップ 2

[スキャン] を押します。デバイスのリストが表示されます。


(注) スキャンは 2、3 秒で完了します。

**ステップ3** デバイスを再スキャンするには、[スキャン結果]の[再スキャン]を押します。

## Bluetooth ヘッドセットと電話機のペアリング


### 手順

**ステップ1** [スキャン結果]リストで、Bluetooth ヘッドセットを選択して[ペアリング]を押します。

**ステップ2** プロンプトが表示されたら、Bluetooth パスキーを入力して  (選択) を押すか、[オプション]>[OK]を押します。

(注) Bluetooth パスキーは、Bluetooth デバイスのマニュアルに記載されています。ペアリングは1分以内に完了する必要があります。それ以上かかると失敗します。ペアリングに成功すると、ペアリングされた新しいヘッドセットが[デバイスリスト]に追加されて電話機に接続されます(以前に別のデバイスと電話機の間 Bluetooth 接続がなかった場合)。

**ステップ3** 接続が存在していた場合は、最初にペアリングを解除するか、または別のデバイスと電話機の接続を解除する必要があります。

Bluetooth デバイスの接続アイコン  が表示され、デバイス名の横にチェックマークが表示されています。

**ステップ4** ペアリングに失敗した場合は、[戻る]を押してもう一度やり直します。

### 関連トピック


[Bluetooth ヘッドセットと電話機のペア解除](#)、(122 ページ)

## すでにペア化されているBluetoothヘッドセット (未接続) と電話機の接続

### 手順


次のいずれかの操作を実行します。

- ヘッドセットをタップして、電話機に接続要求を送信します。

-  > [電話の設定] > [Bluetooth] > [デバイス リスト] を選択して、ヘッドセットを強調表示し、[オプション] > [接続] を押します。


## Bluetooth ヘッドセットと電話機のペア解除

### 手順

- 
- ステップ 1  > [電話の設定] > [Bluetooth] > [デバイス リスト] を選択します。
- ステップ 2 リストからヘッドセットを選択し、[オプション] > [ペア解除] を選択します。
- ステップ 3 [はい] を押して確認します。  
ヘッドセットが電話機から接続解除されて、[デバイス リスト] から削除されます。
- 



## 電話機からの Bluetooth ヘッドセットの接続解除

### 手順

- 
- ステップ 1  > [電話の設定] > [Bluetooth] > [デバイス リスト] を選択します。
- ステップ 2 リストからヘッドセットを選択し、[オプション] > [接続解除] を押します。
- ステップ 3 [はい] を押して確認します。  
ヘッドセットは電話機から接続解除されますが、[デバイス リスト] にはそのまま残ります (デバイス名の横にチェックマークはなし)。
- 

## Bluetoothヘッドセットからスピーカまたはハンドセットへの切り替え (コール中)


### 手順

- 
- ステップ 1  を押し続けます。[オーディオ パスの選択] メニューが表示されます。
- ステップ 2 [スピーカ] または [ハンドセット] を選択します。
- ステップ 3 もう一度モードを切り替えるには、 を押し続けて、別のオーディオ モードを選択します。  
(注) コールの終了後、電話機では最後のコール中に使用していたオーディオ モードが保持されます。
-



## スピーカまたはハンドセットから Bluetooth ヘッドセットへの切り替え（コール中）

### 手順

**ステップ 1**  を押し続けます。[オーディオパスの選択]メニューが表示されます。

**ステップ 2** [Bluetooth] を選択します。



(注) 有線ヘッドセットが電話機に接続されていると、Bluetooth 接続アイコンが表示されている場合でも Bluetooth オプションを選択できません。Bluetooth ヘッドセットを使用するには、最初に有線ヘッドセットを取り外す必要があります。

## 自動応答

着信コールの量が非常に多い場合や、他のユーザのコールを処理する場合は、自動応答を使用できます。自動応答はスピーカモードまたはヘッドセットモードで動作するように、システム管理者によって設定されています。

自動応答が設定されている場合は、コール中ではなくても、ヘッドセットが電話機に差し込まれていることを確認して、ヘッドセットモードをアクティブな状態に保ちます。

自動応答をヘッドセットモードで使用するように電話機が設定されている場合は、有線ヘッド

セットのアイコン  または有効な Bluetooth のアイコン  が電話機のステータス行に表示されている場合にのみ、コールは自動応答されます。そうでない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。





## 第 9 章

# Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャー

この章では、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G で Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーを使用する方法について説明します。

- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの概要, 125 ページ](#)
- [チャージャーの外部電源への接続, 128 ページ](#)
- [チャージャーとワイヤレス電話機のペアリング, 129 ページ](#)
- [電話機のチャージャーへの接続, 130 ページ](#)
- [電話機をチャージャーから取り外す, 132 ページ](#)
- [チャージャーのスピーカ音量の変更, 132 ページ](#)
- [予備バッテリーの交換, 132 ページ](#)
- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの注意事項, 133 ページ](#)

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの概要

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーには、次の機能が備わっています。

- ドックに接続した電話機のバッテリーをコンセントの電力で充電する機能
- 電話機の音量ボタンで音量を調整できるスピーカフォン
- スピーカフォンでの Bluetooth のサポート
- 電源/Bluetooth ステータス LED とバッテリー LED を使用してステータス情報を表示

- 予備バッテリーの充電のためにステーションの背面に追加のポート
- コンセントの電力または電話機の予備バッテリーの電力で稼働

次の図に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーに接続した Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G を示します。

図 1 : チャージャーに接続した *Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G*



Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーは、次の電話機をサポートしています。

- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G
- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX
- Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの2つのLEDの色は状況に応じて変化します。次の表にその色の意味を示します。

LED	色	点滅速度	通知情報
電源/Bluetooth ステータス	消灯	点灯	チャージャーはコンセントに接続されていません。
	緑色	点灯	チャージャーはコンセントに接続されています。
	青色	ゆっくり点滅	Bluetoothがチャージャーに接続されているか、切断されています。
		点灯	チャージャーはBluetoothを使用して電話に接続されています。
バッテリー	消灯	点灯	予備バッテリーは取り付けられていません。
	赤色	点灯	予備バッテリーは充電中です。
	緑色	点灯	予備バッテリーは完全に充電されました。
	オレンジ色	点灯	ステーションは、十分に充電された予備バッテリーから電力を供給されています。
		点滅	ステーションは、予備バッテリーから電力を供給されていますが、バッテリーの残量は少なくなっています。
		点滅してゆっくりと暗くなっていく	ステーションは、予備バッテリーから電力を供給されていますが、バッテリーの残量が急速に減少しています。

予備バッテリーは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーがコンセントに接続されている場合にのみ充電されます。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーは、ハンズフリーバージョン 1.5 を使用して、Bluetooth バージョン 2.1 + Extended Data Rate (EDR) をサポートします。

次の図に、コントロールボタンの場所を示します。コントロールボタンは、チャージャーと電話のペア化の際に使用します。



## チャージャーの外部電源への接続

### 手順

---

**ステップ1** 次の図に示すように、電源コードの片側をステーションに接続します。



- ステップ 2** 電源コードの反対側は、近くのコンセントに接続します。  
電源/Bluetooth ステータス LED は緑色に点灯します。

## チャージャーとワイヤレス電話機のペアリング

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの電源を投入したら、チャージャーとワイヤレス電話機の間には通信を確立する必要があります。この通信を「ペアリング」と呼びます。電話機と Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーは Bluetooth テクノロジーを使用して通信を行います。

チャージャーは、初めて電源が投入された後で、自動的にペアリングモードに入ります。




- (注) チャージャーと電話機が既にペアリングされている場合は、チャージャーのコントロール ボタンを 5 秒間押し続けて、チャージャーと電話機を手動でペアリングします。

### はじめる前に

- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーを外部電源に接続するか、予備のバッテリーを予備のバッテリーポートに取り付けます。

## 手順

- 
- ステップ 1** 電話機をチャージャーに挿入し、電話機をオンにします。
- ステップ 2** チャージャーの側面にあるコントロール ボタンを 5 秒間押し続けます。  
電源/Bluetooth ステータス LED が点滅し、チャージャーがペアリングモードになります。
- ステップ 3** 電話機で、 > [電話の設定] > [Bluetooth] を選択します。
- ステップ 4** [Bluetooth] メニューの最初の項目に [Bluetooth 無効] の表示がある場合は、[選択] を押し、[有効] を選択して [保存] を押します。
- ステップ 5** [デバイス リスト] を選択します。
- ステップ 6** [スキャン] を押します。  
デバイスのリストが表示されます。スキャンは 2、3 秒で完了します。
- ステップ 7** Cisco Dock 7900 がデバイス リストに表示されていない場合は、[再スキャン] を押します。
- ステップ 8** デバイス リストで [Cisco Dock 7900] を選択し、[ペアリング] を押します。
- ステップ 9** プロンプトが表示された場合は、パスキーに「0000」を入力します。  
ペアリングが完了し、チャージャーが [デバイス リスト] に表示されると、チャージャーは電話機とペアリングされています。
- ステップ 10** 電話機の [終了] ボタンを押します。
- 

## 電話機のチャージャーへの接続

電話機をチャージャーから取り外すと Bluetooth の接続が解除されて、電話機のオーディオ用ローカル スピーカが使用されます。



- (注) 電話機がチャージャーにつながれているときに Bluetooth の接続が解除された場合は、電話機をチャージャーから取り外してから、もう一度つなぎます。
- 

### はじめる前に

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーがコンセントに差し込まれているか、充電済みの予備バッテリーが取り付けられていることが必要です。

## 手順

- 
- ステップ 1** 電話機は次の図のようにチャージャーにつなぎます。






電源/Bluetooth ステータス LED が青色で点滅している間は、電話機と Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーが接続されています。Bluetooth 接続が確立されると、電源/Bluetooth ステータス LED は青色で点灯します。

電話機がチャージャーにつながれているときにコールに応答する場合

- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの電源が入っている場合、Bluetooth 接続が完了するまでに多少の遅れが生じるため、このコールは Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーのスピーカを使用して続行されます。
- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーに電源が入っていない（コンセントに差し込まれていないか予備のバッテリーが取り付けられていない）場合、電話機は Bluetooth を使用してチャージャーに接続できません。コールを続けるためには、電話機をチャージャーから取り外す必要があります。

**ステップ 2** Bluetooth に接続していない場合は、電話機を手動でチャージャーに接続します。

- a)  > [電話の設定] > [Bluetooth] > [デバイス リスト] を選択します。
- b) [Cisco Dock 7900] を選択します。

**ステップ 3** [オプション] > [接続] を選択します。  
電話機とチャージャーが接続されます。

**ステップ 4** ペ어링が行われない場合

- a) [オプション] > [ペア解除] を選択します。
- b) ペア解除のプロンプトで、[はい] を選択します。

- チャージャーが Bluetooth デバイス リストから削除されます。
- c) チャージャーと電話機をもう一度ペアリングします。
- 

#### 関連トピック

[チャージャーとワイヤレス電話機のペアリング](#), (129 ページ)

## 電話機をチャージャーから取り外す

### 手順

電話機をチャージャーから取り外すには、電話機を受け台から取り外します。コール中に電話機をチャージャーから取り外すと、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーに接続していないときでも、電源LEDが青色で点滅します。コールは電話機で続行します。

## チャージャーのスピーカ音量の変更

### 手順

スピーカ音量の大きさを調整するには、電話機の音量キーを使用します。

## 予備バッテリーの交換

充電のために予備バッテリーを取り付けるには、次の手順に従ってください。予備バッテリーを完全に充電したら、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの電源として使用することができます（一定時間）。

### 要件

- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーをコンセントに接続する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** 次の図に示すように、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーに予備バッテリーを取り付けます。バッテリーの接続部をチャージャーのベース部分に合わせる必要があります。



バッテリーの充電が完了するとバッテリー LED のランプは緑色になり、バッテリーが充電中の場合は赤色になります。

- ステップ 2** バッテリー LED が赤色または緑色に点灯しない場合、バッテリーが正しく取り付けられていること（ラベルのある面が上）を確認します。状況によっては、バッテリーを取り外し、接続部が正しくはまるように向きを変えて、再び取り付ける必要があります。

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの注意事項

コンセントから Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーを抜くとき、次の点に留意してください。

- 充電済みの予備バッテリーがセットされている場合、ステーションは正常に動作します。予備バッテリーはスピーカフォンに電源を供給します。
  - バッテリー LED がオレンジ色に点滅するのは、予備バッテリーの残量が低いことを示しています。予備バッテリーに十分な残量があれば、アクティブなコールは着信し、発信も可能です。予備バッテリーの残量が低いと、スピーカフォンは動作しませんが、コールは引き続き受信できます。
  - バッテリー LED が薄いオレンジ色に点滅するのは、予備バッテリーの充電が低すぎることを示しています。アクティブなコールは切断され、発信できなくなります。Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーをコンセントに接続するか、または充電済みの予備バッテリーをセットします。
- 予備バッテリーが充電されていないと、ステーションは動作しません。Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーをコンセントに接続するか、または充電済みの予備バッテリーをセットしてください。





# 第 10 章

## ユーザ オプション

---

Cisco Unified Wireless IP Phone は、自分自身のパーソナル コンピュータも含めて、他の社内ネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用すると、Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified Wireless IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。このセクションには、次の情報が記載されています。

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ, 135 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ, 138 ページ](#)

## Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のシステムに接続している場合のユーザ オプション Web ページへのアクセス方法と電話サービスへの登録方法について説明します。設定できる機能や登録できる電話サービスの詳細については、次の URL で Web での *Cisco IP Phone* のカスタマイズ方法を参照してください。 [http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

関連項目：

- [ユーザ オプション Web ページの使用, \(136 ページ\)](#)
- [電話サービスの登録, \(136 ページ\)](#)

## ユーザオプション Web ページの使用

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 4.3 以降のユーザオプション Web ページからログインして電話機を選択する方法について説明します。

### ユーザオプション Web ページへのログイン

#### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザオプションの URL、ユーザ ID、デフォルトのパワードをシステム管理者から取得します。
  - ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力してログインします。  
Cisco Unified Communications Manager ユーザオプション Web ページが開きます。
- 

### ログイン後のデバイスの選択

#### 手順

- 
- ステップ 1** 一般メニューの [デバイスの選択] ドロップダウンリストでデバイスの種類（電話機のモデル）を選択します。Cisco Unified Wireless IP Phone に関するオプションを示す状況依存メニューが表示されます。
  - ステップ 2** お使いの Cisco Unified Wireless IP Phone のオプションを変更します。
- 

### ユーザオプション Web ページの操作のヒント

- すべてのオプションを表示するには、メニュー ページからデバイスを選択します。
- [更新] をクリックして変更を保存します。
- [メニューへ戻る] をクリックしてコンテキストに応じたメニューに戻ります。
- [ログオフ] をクリックして、[ユーザ] ページを終了します。

## 電話サービスの登録

電話機から契約する電話サービスへアクセスする前に、コンピュータからユーザオプション Web ページへアクセスしてサービス登録する必要があります。[ユーザオプション Web ページの使用](#)、[\(138 ページ\)](#) を参照してください。

電話サービスには、次が含まれます。

- 株式相場、映画情報、天気予報などの Web ベース情報
- 社内カレンダーや検索可能なディレクトリなどのネットワーク データ
- ファスト ダイヤル サービスや個人のアドレス帳などの電話機能

詳細については、次の URL で *Web* での *Cisco IP Phone* のカスタマイズ方法を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

## サービスへの登録

### 手順

- 
- ステップ 1** メイン メニューで、[Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。
  - ステップ 2** 使用可能なサービスのドロップダウンリストからサービスを選択して、[続行] をクリックします。
  - ステップ 3** 要求に応じて、その他の情報（郵便番号や PIN など）を入力します。
  - ステップ 4** [登録] をクリックします。
- 


## 登録の変更または解除

### 手順

- 
- ステップ 1** メイン メニューで、[Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。
  - ステップ 2** 登録済みサービスのセクションで、目的のサービスをクリックします。
  - ステップ 3** 変更を行って [更新] をクリックするか、[登録解除] をクリックします。
- 

## 電話機のサービスへのアクセス

### 手順

- 
- ステップ 1**  (サービス) > (サービス名) を選択します。
  - ステップ 2** 目的のサービスを選択します。
-

# Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 以降のユーザオプション Web ページ

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 以降のシステムに接続している場合のユーザオプション Web ページへのアクセス方法と電話サービスへの登録方法について説明します。ユーザオプション Web ページへのアクセス、機能の設定、電話サービスへの登録の詳細については、これらのセクションをご利用ください。

## ユーザオプション Web ページの使用

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 以降のユーザオプション Web ページからログインして電話機を選択する方法について説明します。

### ユーザオプション Web ページへのログイン

#### 手順

- ステップ 1 ユーザオプションの URL、ユーザ ID、デフォルトのパパスワードをシステム管理者から取得します。
  - ステップ 2 コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力してログインします。
  - ステップ 3 セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。
- Cisco Unified Communications Manager ユーザオプション Web ページが開きます。このページから、[ユーザオプション] を選択してデバイスを選択し、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファストダイヤルにアクセスできます。

### ログイン後のデバイスの選択

#### 手順

- ステップ 1 ユーザオプション Web ページにログインしたら、[ユーザオプション]>[デバイス] を選択します。  
[デバイス設定] ページが表示されます。



- ステップ 2** 複数のデバイスが割り当てられている場合は、適切なデバイスが選択されていることを確認します（電話機のモデルやエクステンションモビリティプロファイルで確認）。必要に応じて、別のデバイスを [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
- 

## ユーザ機能の設定

### 手順

[ユーザ オプション] を選択して、次の機能にアクセスします。

- ユーザ設定
- ディレクトリ
- 個人アドレス帳
- ファストダイヤル

## 電話機の設定

### 手順

電話機の次のオプションにアクセスするには、ツールバー ボタンを選択します。

- 回線の設定
- スピードダイヤル
- IP Phone サービス
- サービス URL

## [デバイス設定] ページに戻る

[デバイス設定] ページでは、お使いの電話機で利用できるすべての設定オプションにアクセスできます（他のページでは、すべてのオプションにアクセスできない場合があります）。

### 手順

任意のページで [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択して、デバイスの設定が正しいことを確認したり、デバイスを変更したりします。

## Web からの機能およびサービスの設定

これらの項目では、ログイン後にユーザ オプション Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。

### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの使用, \(138 ページ\)](#)
- [Web でのスピードダイヤル, \(140 ページ\)](#)
- [Web でのパーソナルディレクトリ, \(141 ページ\)](#)
- [Web での電話サービスの設定, \(145 ページ\)](#)
- [Web でのユーザ設定, \(147 ページ\)](#)
- [Web での回線の設定, \(149 ページ\)](#)
- [Cisco WebDialer, \(150 ページ\)](#)

### Web でのスピードダイヤル

設定に応じて、電話機は次のようないくつかのスピードダイヤルをサポートします。これらは Web から設定できます。

- 回線表示のスピードダイヤル
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル



---

(注) スピードダイヤル機能の使い方については、[スピードダイヤル, \(60 ページ\)](#) を参照してください。

---

### ヒント

- 回線表示画面に表示される電話番号は 6 つまでです (回線とスピードダイヤルの組み合わせ)。
- スピードダイヤルラベルが 11 文字を超えている場合、ラベルは左から詰められるため、短いラベルを使用してください。たとえば、「Customer Service」と入力すると、画面には「er Service」と表示されます。

## 回線表示のスピードダイヤル番号の設定

### 手順

- 
- ステップ1 デバイスの名前を選択します。
  - ステップ2 [スピードダイヤル]をクリックします。
  - ステップ3 ダイヤルする電話番号を入力します。
  - ステップ4 スピードダイヤル番号のラベルを11文字以下で入力します。
  - ステップ5 [保存]をクリックします。  
(注) スピードダイヤルが回線表示で設定されている場合、スピードダイヤルのラベルがアイコンの横に表示されます。
- 

## 短縮ダイヤルの設定

### 手順

- 
- ステップ1 デバイスの名前を選択します。
  - ステップ2 [スピードダイヤル]をクリックします。
  - ステップ3 ダイヤルする電話番号を入力して、短縮ダイヤルコードのラベルを付けます。
  - ステップ4 [保存]をクリックします。  
(注) 短縮ダイヤルコードの番号をメモします。このコードを[オプション]>[短縮]で使用して、スピードダイヤル番号にアクセスします。
- 

## ファストダイヤルの設定

詳細については、[Webでのパーソナルディレクトリ](#)、(141 ページ)を参照してください。

また、電話機にもファストダイヤルを設定できます。[パーソナルディレクトリ](#)、(81 ページ)を参照してください。

## Webでのパーソナルディレクトリ

コンピュータ上でアクセスできるパーソナルディレクトリ機能は、次のとおりです。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- ファストダイヤル
- アドレス帳同期ツール (TABSynch)



---

(注) PAB とファストダイヤルは、電話機からもアクセスできます。[パーソナルディレクトリ](#)、([81 ページ](#)) を参照してください。

---

#### ヒント

- 最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤルエントリを作成できます。新規のファストダイヤルエントリは、ユーザオプション Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキストラベルは表示されません。

### Web での新規 PAB エントリの追加

#### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
  - ステップ 3 エントリの情報を入力します。
  - ステップ 4 [保存] をクリックします。
- 

### Web での PAB エントリの検索

#### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ 2 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。  
(注) すべてのエントリを検索するには、検索情報を指定せずに [検索] をクリックします。
-

## Web での PAB エントリの編集

### 手順

- 
- ステップ 1 PAB エントリを検索します。
  - ステップ 2 名前またはニックネームをクリックします。
  - ステップ 3 必要に応じてエントリを編集し、[保存] をクリックします。
- 

## Web での PAB エントリの削除

### 手順

- 
- ステップ 1 PAB エントリを検索します。
  - ステップ 2 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除] をクリックします。
- 

## Web での PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1 PAB エントリを作成します。[Web でのパーソナルディレクトリ](#)、(141 ページ) を参照してください。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加] をクリックします。
  - ステップ 4 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
  - ステップ 5 [検索オプション] 領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。
  - ステップ 6 [検索結果] 領域の電話番号をクリックします。
  - ステップ 7 [保存] をクリックします。
-

**Web** での電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て（PAB エントリを使用しない）

## 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
  - ステップ 3 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
  - ステップ 4 電話番号を入力します。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
- 

**Web** でのファストダイヤルエントリの検索

## 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ 2 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
- 

**Web** でのファストダイヤル電話番号の編集

## 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ 2 編集するファストダイヤルエントリを検索します。
  - ステップ 3 エントリのコンポーネントをクリックします。
  - ステップ 4 電話番号を変更します。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
-

## Webでのファストダイヤルの削除

### 手順

- 
- ステップ1 ファストダイヤルを検索します。
  - ステップ2 1つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ3 [選択項目の削除]をクリックします。
- 

## アドレス帳同期ツール

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、Microsoft Windows のアドレス帳 (使用している場合) と PAB を同期することができます。同期することにより、Microsoft Windows のアドレス帳に Wireless IP Phone およびユーザ オプション Web ページからアクセスできるようになります。TABSynch のアクセス権と詳しい手順の情報については、システム管理者にお問い合わせください。

## Webでの電話サービスの設定

IP Phone サービスには、電話機の特別な機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報 (株式相場、映画情報など) があります。IP Phone サービスにアクセスする前に、まず IP Phone サービスに登録する必要があります。

## Webでのサービスの登録

### 手順

- 
- ステップ1 デバイスの名前を選択します。
  - ステップ2 [電話機サービス]をクリックします。
  - ステップ3 [新規追加]をクリックします。
  - ステップ4 ドロップダウンリストからサービスを選択し、[次へ]をクリックします。
  - ステップ5 サービスラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します (オプション)。  
ラベルの文字が11文字を超えている場合、ラベルは左から詰められるため、短い名前を使用します。たとえば、「Customer Service」と入力すると、画面には「er Service」と表示されます。
  - ステップ6 [保存]をクリックします。
-

## Web でのサービスの検索

### 手順

- 
- ステップ 1 デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [電話機サービス] をクリックします。
  - ステップ 3 [検索] をクリックします。
- 

## Web でのサービスの変更または解除

### 手順

- 
- ステップ 1 サービスを検索します。
  - ステップ 2 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除] をクリックします。
- 

## Web でのサービス名の変更

### 手順

- 
- ステップ 1 サービスを検索します。
  - ステップ 2 サービス名をクリックします。
  - ステップ 3 情報を変更し、[保存] をクリックします。
- 

## Web での使用可能な画面スロットへのサービスの追加

### 手順

- 
- ステップ 1 デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [サービス URL] をクリックします。  
このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンを設定するように、システム管理者に依頼します。



- ステップ3** [ボタン サービス] ドロップダウン リストから、サービスを選択します。
- ステップ4** サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  
電話機で2バイト文字セットがサポートされない場合は、[ASCII ラベル] フィールドが使用されます。
- ステップ5** [保存] をクリックします。
- ステップ6** [リセット] をクリックして電話機をリセットし、新しいラベルを表示します。電話機がリセットされるまでは、ラベルを確認できません。
- 


## Webでの電話機サービスへのアクセス



- (注) 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 

### 手順

---

- ステップ1**  > [ (サービス名) ] を選択します。  
設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。
- ステップ2** 設定したサービスが複数ある場合は、電話スクリーンのメニューからサービスを選択します。
- 

## Webでのユーザ設定

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。PINとパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。

### ヒント

- 電話機でCisco エクステンション モビリティやパーソナルディレクトリにログインするためには、PIN を使用します。
- ユーザ オプション Web ページやパーソナル コンピュータの Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。
- これらサービスの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## Web でのパスワードの変更

### 手順

---

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 2 [ブラウザのパスワード] 領域で、パスワードを入力します。  
パスワードは 5 ～ 127 文字にする必要があります。
  - ステップ 3 [保存] をクリックします。
- 

## Web での PIN の変更

### 手順

---

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 2 [電話の PIN] 領域で、PIN を入力します。  
PIN は 5 ～ 20 桁の数字にする必要があります。
  - ステップ 3 [保存] をクリックします。
- 

## Web でのユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）の変更

### 手順

---

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 2 [ユーザ ロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウン リストから、項目を選択します。
  - ステップ 3 [保存] をクリックします。
-

## Webでの電話スクリーンの言語（ロケール）の変更

### 手順

- 
- ステップ1 [ユーザ オプション]>[デバイス]を選択して、[デバイス設定]ページに移動します。
  - ステップ2 [ユーザ ロケール] ドロップダウンリストから、項目を選択します。
  - ステップ3 [保存]をクリックします。
- 

## Webでの回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送と回線ラベルが含まれます。



(注)

- (プライマリ電話回線への) コール転送は、電話機から直接設定できます。 [コール転送](#)、[\(50 ページ\)](#) を参照してください。
  - 電話機から直接アクセスできる電話設定については、 [電話機のカスタマイズ](#)、[\(101 ページ\)](#) を参照してください。
- 

### ヒント

ユーザ オプション Web ページからは電話機の [呼出音設定] を変更できません。

## Webでの回線ごとのコール転送の設定

### 手順

- 
- ステップ1 デバイスの名前を選択します。
  - ステップ2 [回線の設定]をクリックします。
  - ステップ3 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認するか、新しい回線を選択します。
  - ステップ4 [着信コールの転送]領域で、各種条件の不在転送設定を選択します。
  - ステップ5 [保存]をクリックします。
-

## Web での回線ごとのボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

### 手順

- 
- ステップ 1 デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [回線の設定] をクリックします。
  - ステップ 3 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認するか、新しい回線を選択します。
  - ステップ 4 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。  
通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、ランプとメッセージを表示して、新しいボイスメッセージがあることを示します。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
- 

## Web での電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルの変更または作成

### 手順

- 
- ステップ 1 デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [回線の設定] をクリックします。
  - ステップ 3 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認するか、新しい回線を選択します。
  - ステップ 4 [回線のテキスト ラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。  
ラベルの文字が 11 文字を超えている場合、ラベルは左から詰められるため、短い名前を使用します。たとえば、「Customer Service」と入力すると、画面には「er Service」と表示されます。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
- 

## Cisco WebDialer

Cisco Web Dialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリの連絡先へのコールを Cisco Unified Wireless IP Phone で発信できます。この機能の設定は、システム管理者が行う必要があります。

## [ユーザオプション]ディレクトリでの WebDialer の使用

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。[ユーザ オプション Web ページの使用](#), (138 ページ) を参照してください。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ディレクトリ]を選択して、同僚を検索します。
  - ステップ 3 ダイヤルする番号をクリックします。
  - ステップ 4 WebDialer を初めて使用する場合は、設定を行って [送信] をクリックします。
  - ステップ 5 [Cisco WebDialer - コールの開始] ページが表示されたら [ダイヤル] をクリックします。
  - ステップ 6 これで、電話機からコールが発信されます。
  - ステップ 7 コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話を切ります。
- 

## [ユーザオプション]ディレクトリではなく、別のオンライン社内ディレクトリで WebDialer を使用

### 手順

- 
- ステップ 1 WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
  - ステップ 2 ダイヤルする番号をクリックします。
  - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
  - ステップ 4 WebDialer を初めて使用する場合は、設定を行って [送信] をクリックします。
  - ステップ 5 [Cisco WebDialer - コールの開始] ページが表示されたら [ダイヤル] をクリックします。  
これで、電話機からコールが発信されます。
  - ステップ 6 コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話を切ります。
- 

## WebDialer のログアウト

### 手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] または [Cisco WebDialer - 終了] ページでログアウトのアイコンをクリックします。

## WebDialerの初期設定、表示、または変更

### 手順


- 
- ステップ 1** [設定] ページにアクセスします。  
[設定] ページは、ダイヤルする番号をクリックした後で WebDialer を初めて使用するときに表示されます。
- ステップ 2** 後で [設定] ページに戻るには、[Cisco WebDialer - コールの開始] または [Cisco WebDialer - 終了] ページで [設定] アイコンをクリックします。  
[設定] ページには次のオプションがあります。

#### [優先する言語]

WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。

#### [固定デバイスを使用する]

WebDialer コールの発信に使用する Wireless IP Phone とディレクトリ番号（回線）を特定します。1つの回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線を選択します。電話機はホスト名で指定されます。

ホスト名を電話機に表示するには、 (設定) > [ネットワーク プロファイル] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します。

#### [エクステンション モビリティを使用する]

これを選択した場合、WebDialer はエクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられている Wireless IP Phone を使用します（使用可能な場合）。

#### [コールの確認ダイアログを表示しない]

WebDialer の [Cisco WebDialer - コールの開始] ページが表示されなくなります。デフォルトでは、このページは WebDialer 対応のオンライン ディレクトリ内の電話番号をクリックすると表示されます。

---



# 第 11 章

## トラブルシューティング

このセクションでは、Cisco Unified Wireless IP Phone に関するトラブルシューティング情報を提供します。

- [一般的なトラブルシューティング, 153 ページ](#)
- [電話機の管理データ, 155 ページ](#)
- [品質レポート ツールの使用, 156 ページ](#)
- [Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャーの問題, 156 ページ](#)

### 一般的なトラブルシューティング

この項では、お使いの電話機に関して、一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を説明します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
コールを完了できない	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 電話機がワイヤレス ネットワークのアクセス ポイントの通信圏外にあります。 (注) 電話機でローミングしている場合、緑色のランプが点滅していると、電話機がワイヤレスサービスの通信圏内にあることがわかります。</li><li>• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。</li><li>• 番号をダイヤルした後で、クライアント識別コードまたは強制承認コードを入力する必要があります。</li><li>• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能が使用できないようになっています。</li></ul>

症状	説明
メイン画面がアクティブではない	<p>以下のメッセージのいずれかがステータス行に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークがビジーです：ワイヤレス ネットワークには、コールを完了するための十分な帯域幅がありません。しばらくしてから、再試行してください。</li> <li>• サービス圏外に接近中：電話機が関連アクセス ポイントおよびワイヤレス ネットワークの通信圏から外れています。</li> <li>• ネットワーク サービスの検索中：電話機がワイヤレス ネットワークのアクセス ポイントを検索しています。</li> <li>• 認証に失敗しました：認証サーバがセキュリティ証明書を受け入れませんでした。</li> <li>• IP を設定中：電話機が、DHCP による IP アドレスの割り当てを待っています。</li> </ul>
設定メニューが反応しない	システム管理者が、電話機の [設定] メニューへのアクセスを無効にしている可能性があります。
[参加] が失敗する	[参加] には、選択されたコールが複数必要になります。最低 1 件のコールを選択しており、さらにアクティブ コールが自動で選択されていることを確認してください。また [参加] では、同じ回線上のコールを選択する必要もあります。必要な場合は、参加する前に、複数のコールを 1 つの回線に転送してください。
使用するソフトキーが表示されていない	<p>次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [オプション] を押してスクロールし、その他のソフトキーを表示する必要があります。</li> <li>• 回線の状態を変更する必要があります（コールを発信する、接続コールを維持するなど）。</li> <li>• ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように、電話機が設定されていません。</li> </ul>
割り込みが失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用している電話機で暗号化が設定されていない場合、暗号化済みコールに割り込むことができません。この理由により割り込みが失敗すると、電話機で速いビジー音が再生されます。</li> <li>• 別の Cisco Unified Wireless IP Phone でコールに割り込むことはできません。</li> </ul>




症状	説明
割り込みを使用して参加したコールが切断される	割り込みで参加したコールが保留になった場合、転送された場合、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールからユーザは切断されます。
折返しが失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。
[全てのコールの転送]を設定しようとする と、電話機にエラー メッセージが表示される	転送先番号を入力すると、不在転送ループが発生する場合、または不在転送チェーンで許容される最大リンク数（最大ホップ数とも呼ぶ）を超過する場合、電話機で[全てのコールの転送]を直接設定する際に、設定が拒否されることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 電話機の管理データ

トラブルシューティングの目的で、電話機から管理データにアクセスするようシステム管理者から求められる場合があります。

## ネットワークまたはワイヤレスネットワークの設定データへのアクセス

### 手順

- 
- ステップ1  > [デバイス情報] を選択します。
  - ステップ2 [ネットワーク] または [WLAN] を選択します。
  - ステップ3 表示する設定項目を選択します。
-

## ステータス データへのアクセス

### 手順

#### ステップ 1



> [ステータス] を選択します。

#### ステップ 2

表示するステータス項目を選択します。

## 電話機のコールおよびボイス品質情報へのアクセス

### 手順



> [ステータス] > [コール] を選択します。

## 品質レポート ツールの使用

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立つために、システム管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

### 手順

[オプション] > [QRT] を選択します。

## Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの問題

このセクションでは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーの問題のトラブルシューティングに役立つ情報を提供しています。

## 電源/Bluetooth ステータス LED

このセクションでは、電源/Bluetooth ステータス LED で確認される状況について説明します。普通の状況では、電源/Bluetooth ステータス LED は緑色に点灯します。これは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーが電源コンセントに刺さっていることを示しています。

### 電源/Bluetooth ステータス LED が点灯しない

#### 問題

電源/Bluetooth ステータス LED が点灯しません。

#### 原因

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーがコンセントに接続されていません。またバッテリー LED も点灯しない場合、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーが使用不可になっています。

#### ソリューション

チャージャーをコンセントに接続します。

### 電源/Bluetooth LED が青色で点滅している

#### 問題

電源/Bluetooth ステータス LED が青色で点滅しています。

#### 原因

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーが、Bluetooth ペ어링モードに切り替わったか、このモードから別のモードに切り替わりました。

#### ソリューション

これは通常の動作です。

## バッテリー LED

このセクションでは、バッテリー LED で確認される状況について説明します。バッテリー LED が緑色に点灯している場合、予備バッテリーの充電は完了しています。

## バッテリー LED が点灯しない

### 問題

バッテリー LED が点灯しません。

### 原因

予備バッテリーが Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーに取り付けられていないか、バッテリーが正しく接続されていません。

### ソリューション

バッテリーが取り付けられていない場合、この状態は正常です。バッテリーが取り付けられている場合は、バッテリーを一度取り外して、もう一度チャージャーに取り付けます。また電源/Bluetooth ステータス LED が緑色に点灯することを確認します。

## バッテリー LED が赤色である

### 問題

バッテリー LED が赤色になっています。

### 原因

予備バッテリーは充電中です。

### ソリューション

この状態は正常です。

## バッテリー LED がオレンジ色である

### 問題

バッテリー LED がオレンジ色になっています。

### 原因

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップチャージャーが、予備バッテリーの電力で稼働しています。バッテリー LED がオレンジ色で点滅している場合、予備バッテリーの電力の残量が低下しています。オレンジ色のバッテリー LED の色が薄くなってくると、予備バッテリーの電力残量は急速に減少します。

### ソリューション

チャージャーをコンセントに接続します。



付録

# A

## 保証

---

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 159 ページ

## シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN\\_\\_html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__html)





## 索引

### B

- BLF ピックアップ [72](#)
- Bluetooth [3](#), [118](#), [120](#), [125](#)
  - およびデスクトップ チャージャー [125](#)
  - 認定デバイス ID [3](#)
  - ヘッドセット [118](#)
  - 有効 [120](#)

### C

- Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G デスクトップ チャージャー [125](#)
- Cisco Unified IP Phone [xvi](#)
  - 資料 [xvi](#)
- Cisco Unified Wireless IP Phone [xvii](#), [xviii](#), [xx](#), [1](#), [5](#), [12](#), [16](#), [17](#), [19](#), [25](#), [27](#), [114](#), [135](#), [153](#)
  - Web ベース サービス [135](#)
  - アクセサリ [27](#)
  - 安全性とパフォーマンス [xvii](#)
  - 医療現場での使用 [xx](#)
  - オンライン ヘルプ [12](#)
  - 規制ドメイン [xx](#)
  - 機能の設定 [16](#), [114](#)
  - クリーニング [17](#)
  - 接続 [19](#)
  - 説明 [1](#)
  - 電源装置 [xviii](#)
  - 電源投入 [25](#)
  - 登録 [27](#)
  - トラブルシューティング [153](#)
  - ボタンとキー [5](#)
- Cisco WebDialer [150](#), [151](#)
- Cisco エクステンション モビリティ [97](#)
- C 割込 [55](#), [69](#)
  - 関連項目 : [割り込み](#)
  - 使用方法 [69](#)

### C 割込 (続き)

関連項目 : [割り込み](#)

### I

- IP Phone サービス [140](#)
  - 設定 [140](#)

### L

- LED [5](#), [125](#)
  - チャージャーの電源 LED [125](#)
  - チャージャーのバッテリー LED [125](#)
  - デスクトップ チャージャー [125](#)
  - 電話機 [5](#)

### M

- MLPP [74](#)
  - 使用方法 [74](#)
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) [74](#)

### P

- PAB [39](#)
  - ダイヤル発信元 [39](#)
- PIN [148](#)
  - 変更 [148](#)
- Push to Talk [98](#)
  - アクセス [98](#)
  - 使用方法 [98](#)
  - ボタン [98](#)

## T

- TABSynch [145](#)
- TAPS [27](#)
  - 使用方法 [27](#)
- Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) [27](#)

## W

- WebDialer [151](#)

## あ

- アイコン [8, 13, 25, 59](#)
  - インターコム [59](#)
  - 回線の状態 [13](#)
  - コールの状態 [13](#)
  - 信号強度 [25](#)
  - 説明 [8](#)
- アクセサリ、電話機 [27](#)
- アクセシビリティ [xxi](#)
- アドホック会議。参照先：[会議コール](#)
- アプリケーション ボタン [5](#)
- 暗号化済みコール [72](#)
- 安全性とパフォーマンス [xvii](#)

## い

- 医療現場での使用 [xx](#)
- インジケータ ランプ [5, 24](#)
  - 色 [5](#)
  - 使用中 [24](#)
  - 点滅速度 [5](#)
  - 緑色の点滅 [24](#)
- インターコム [58](#)
- インターコム回線 [59](#)

## え

- エクステンション モビリティ [40, 98](#)
  - 使用方法 [40](#)
  - ログアウト [98](#)
  - ログイン [98](#)

## お

- 応答/送信ボタン [5](#)
- 折返し [38](#)
- 音声品質データ [155](#)
  - 位置の特定 [155](#)
- オンライン ヘルプ [12](#)
  - 使用方法 [12](#)
- 音量 [101, 103, 132](#)
  - 調節 [101, 103](#)
  - デスクトップ チャージャー [132](#)
- 音量ボタン [5, 12](#)
  - およびデスクトップ チャージャー [5](#)
  - 使用方法 [12](#)
  - 説明 [5](#)

## か

- 会議コール [53, 54, 55, 56](#)
  - C 割込 [55](#)
  - アドホック [53](#)
  - 参加 [54](#)
  - 標準 [53](#)
  - ミーティング [53, 56](#)
- 回線 [13, 149](#)
  - アクセス [13](#)
  - 回線表示アイコン [13](#)
  - コール転送 [149](#)
  - コールの状態アイコン [13](#)
  - 説明 [13](#)
  - テキスト ラベル [149](#)
  - 表示 [13](#)
  - ボイス メッセージ インジケータの設定 [149](#)
- 回線の設定 [149](#)
  - Communications Manager の Web ページでの制御 [149](#)
- 回線表示のスピードダイヤル [61](#)
- 課金コード [39](#)
  - ダイヤル [39](#)
- 画面のフォント [108](#)

## き

- キーパッドのショートカット [12](#)
- キーパッドのロック [12, 109](#)
  - キーパッドのロック解除 [12, 109](#)
  - 自動キーロック機能 [109](#)



## キーパッドのロック (続き)

自動キーロックの設定 109

ロック 12

キーパッド 12

## キーロック 12

## 規制ドメイン xx

## 機能 xxi, 16, 114

アクセシビリティ xxi

その他の追加 114

利用可能 16

## 機能ボタン 11

使用方法 11

## 機能メニュー 11

## 共有回線 68, 69, 70

コール情報 68

説明 68

プライバシー 69, 70

リモートで使用中のメッセージ 68

割込み 69

割り込み 68, 69

## け

## 警告 xvii

## こ

## コール 13, 32, 35, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 53, 64, 66, 72, 74, 149

アイコン 13

応答 41

会議機能 53

回線との比較 13

サイレント 51

終了 44

セキュア 72

選択 13

転送 48, 50, 149

パーク 66

発信 32, 35

ピックアップ 64

複数の処理 47

複数の通話相手 53

ブロック 51

保存および取得 66

保留および復帰 44

## コール (続き)

ミュート 46

優先度 74

呼出中にリダイレクト 43

## コール待機 43

## コール転送 50, 149

Communications Manager の Web ページからの設定 149

## コールの切り替え 47

## コールの切断 44

オプション 44

## コールの選択 13

## コールの発信 32, 35

オプション 32, 35

## コールの優先度 74

## コールパーク 66

## コールピックアップ 64

## コールへの応答 41

## さ

## サービス 145

登録先 145

## サイレント 51

## サイレント (DND) 51

## 参加、会議 54

## し

## シスコ製品のセキュリティ xxi

## 自動応答 123

使用方法 123

## 自動キーロック 109

## 社内ディレクトリ 80, 150

Communications Manager の Web ページから使用 150

使用方法 80

## 資料 xvi

入手方法 xvi

## 信号強度 25

## す

## ステータス行 8

表示 8

## ステータス データ 155

位置の特定 155

スピーカ アイコン **119**  
 スピーカフォン **117**  
   音量の調節 **117**  
   使用するモード **117**  
 スピーカ ボタン **5**  
 スピードダイヤル **60, 61, 62, 93, 140, 141**  
   Web から設定 **141**  
   オプション **60**  
   回線表示 **61**  
   回線表示ラベル **140**  
   電話帳の連絡先への割り当て **93**  
   ファストダイヤルの使用 **62**  
   ホットキー **60**

## せ

セキュアなコール **72**  
 セキュリティ **xxi, 72, 73**  
   アイコン **73**  
   セキュアなコールの発信と着信 **72**  
   非セキュアなコールの確認 **72**  
   レベル **73**  
 切断 **44**  
   オプション **44**  
 設置 **19**  
   Cisco Unified Wireless IP Phone **19**  
 選択ボタン **5, 11**  
   使用方法 **11**  
   説明 **5**

## そ

ソフトキー ボタン **8**  
   使用方法 **8**  
   ラベル **8**

## た

ダイヤル **32, 35**  
   オプション **32, 35**  
 短縮ダイヤル **140**

## ち

着信履歴 **78**  
   件 **78**

## つ

通話履歴 **77**  
   削除 **77**  
   表示およびダイヤル **77**  
   メニュー オプション **77**

## て

停電 **xx**  
 ディレクトリ **8, 80, 81, 151**  
   Communications Manager の Web ページから使用 **151**  
   オプションの説明 **80**  
   社内、使用方法 **80**  
   パーソナル、使用 **81**  
   番号の表示 **8**  
 テキスト **5, 26**  
   特殊文字 **5, 26**  
   入力 **26**  
   編集 **26**  
 テキストの入力 **26**  
 テキストの編集 **26**  
 デスクトップチャージャー **29, 125, 132**  
   Bluetooth **125**  
   音量の調整 **132**  
   ケーブルロック **29**  
   電源 LED **125**  
   バッテリー LED **125**  
   予備バッテリー **132**  
 デスクトップチャージャーのケーブルロック **29**  
 電源/終了ボタン **5**  
 電源装置 **xviii**  
 電源投入 **25**  
 転送 **48**  
   オプション **48**  
 転送、コール **50**  
   オプション **50**  
 電話回線 **8, 13**  
   説明 **13**  
   表示 **8**

電話機 **29, 118, 119**

- スピーカ モード **119**
- ハンドセット モード **118**
- ロック セット **29**

電話機の LED **5**

電話機のステータス行のアイコン **8**

電話機のボタン **5**

説明 **5**

電話機のロック **29**

電話スクリーン **8, 11, 13, 17, 105**

LED 表示の変更 **105**

アイコン **8**

アクティブ コール **13**

画面の明るさの変更 **105**

機能 **8**

機能の説明 **8**

クリーニング **17**

言語の変更 **105**

バックライトオフの変更 **105**

メニュー **11**

電話帳 **86**

使用方法 **86**

## と

登録 **145**

電話サービス **145**

特殊文字 **5, 26**

アクセス **5, 26**

トラブルシューティング **153**

データ **153**

## な

ナビゲーション ボタン **5, 11**

## に

認証済みコール **72**

## ね

ネットワーク設定データ **155**

位置の特定 **155**

ネットワーク プロファイル **111**

表示 **111**

ロック **111**

## は

バイブレータ モード **12**

アイコン **12**

設定 **12**

パスワード **25, 111, 148**

EAP の変更 **111**

設定 **25**

ネットワーク EAP **25**

変更 **148**

発信履歴 **78**

件 **78**

バッテリー **xviii, 19, 125**

安全性に関する注意事項 **xviii**

充電 **125**

取り付け **19**

取り外し **19**

ハント グループ **67**

ログアウト **67**

ハンドセット **117**

音量の調節 **117**

使用方法 **117**

## ひ

左のソフトキーの設定 **106**

ピックアップ、グループ **64**

品質レポート ツール (QRT) **156**

使用方法 **156**

## ふ

フォント **108**

複数のコール **47**

処理 **47**

不在履歴 **78**

件 **78**

不審なコール **73**

トレース **73**

復帰 **44**

使用方法 **44**

プライバシー **69, 70**  
 共有回線 **69**  
 使用方法 **70**

## へ

ヘッドセット **xxi, 5, 28, 101, 103, 117, 118, 119**  
 Bluetooth **119**  
 Bluetooth ワイヤレス **118**  
 音量の調節 **117**  
 外部デバイスの使用 **xxi**  
 使用するモード **117**  
 使用方法 **28, 118**  
 注文 **28**  
 品質 **28**  
 ポート **5**  
 有線 **118, 119**  
 呼出音の音量の選択 **101, 103**  
 ヘッドセットの仕様 **119**  
 ヘルプ **12**  
 アクセス **12**  
 コンテンツ **12**  
 使用方法 **12**

## ほ

ボイス メッセージ **12, 95**  
 アクセス **95**  
 インジケータ **95**  
 ショートカット **12**  
 ボイス メッセージ インジケータ **149**  
 設定の変更 **149**  
 ホーム画面の表示 **10**  
 保証 **159**  
 ボタン **5, 11, 12, 119**  
 アプリケーション **5**  
 応答/送信 **5**  
 音量 **5**  
 ショートカット **12**  
 スピーカ **5, 119**  
 選択 **5**  
 電源/終了 **5**  
 ナビゲーション **5, 11**  
 左ソフトキー **5**  
 右ソフトキー **5**  
 ミュート **5**

保留 **44, 47, 48**  
 および転送 **48**  
 コールの切り替え **47**  
 使用方法 **44**

## み

ミーティング会議 **53, 56**  
 ミュート ボタン **5, 46**  
 使用方法 **46**

## め

迷惑呼 (MCID) **73**  
 メニュー **11**  
 項目へのアクセス **11**  
 使用方法 **11**  
 メインメニューへのアクセス **11**

## ゆ

ユーザ オプション Web ページ **135, 136, 138, 140, 141, 145, 147**  
 Cisco Unified Communications Manager **135, 136, 138, 145**  
 アクセスおよび使用 **135, 138**  
 電話サービスへの登録 **136, 145**  
 Communications Manager **138, 145**  
 アドレス帳同期ツール **145**  
 [デバイス設定] ページ **138**  
 PIN、変更 **147**  
 回線表示のスピードダイヤル、設定 **140**  
 機能およびサービスの設定 **140**  
 言語 (ロケール) の設定 **147**  
 パーソナルディレクトリ、Web ページからの利用 **141**  
 パスワード、変更 **147**  
 有線ヘッドセット **118**  
 アイコン **118**  
 使用方法 **118**  
 ポート **118**

## よ

呼出音 **101, 103**  
 音量 **101, 103**  
 回線ごとの選択 **101, 103**

呼出音 (続き)

変更 [101, 103](#)

呼び出しパターン [12, 103](#)

音量ボタンでの変更 [12](#)

設定の変更 [103](#)

り

リモートで使用中、共有回線 [68](#)

れ

連絡先 [86, 89, 93](#)

検索 [89](#)

スピードダイヤルの割り当て [93](#)

電話帳内 [86](#)

ろ

ログアウト、ハントグループ [67](#)

わ

ワイヤレス ネットワーク データ [155](#)

位置の特定 [155](#)

ワイヤレス ヘッドセット [118, 119](#)

使用方法 [118](#)

割り込み [68, 69, 70](#)

共有回線 [68, 69](#)

使用方法 [69](#)

プライバシー [70](#)

